Panasonic

取扱説明書

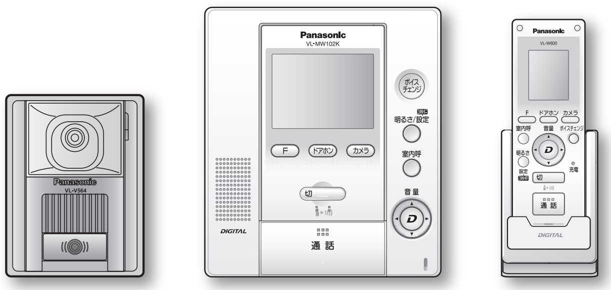
工事説明書別添付

ワイヤレスモニター付テレビドアホン

ブイエル　エスダブリュー　エイケイ
品番 **VL-SW102AK**
（電源コード式）

VL-MW102K
（カラーモニター親機）........... 1 台
VL-W600
（ワイヤレスモニター子機）... 1 台
VL-V564-K
（カラーカメラ玄関子機）....... 1 台





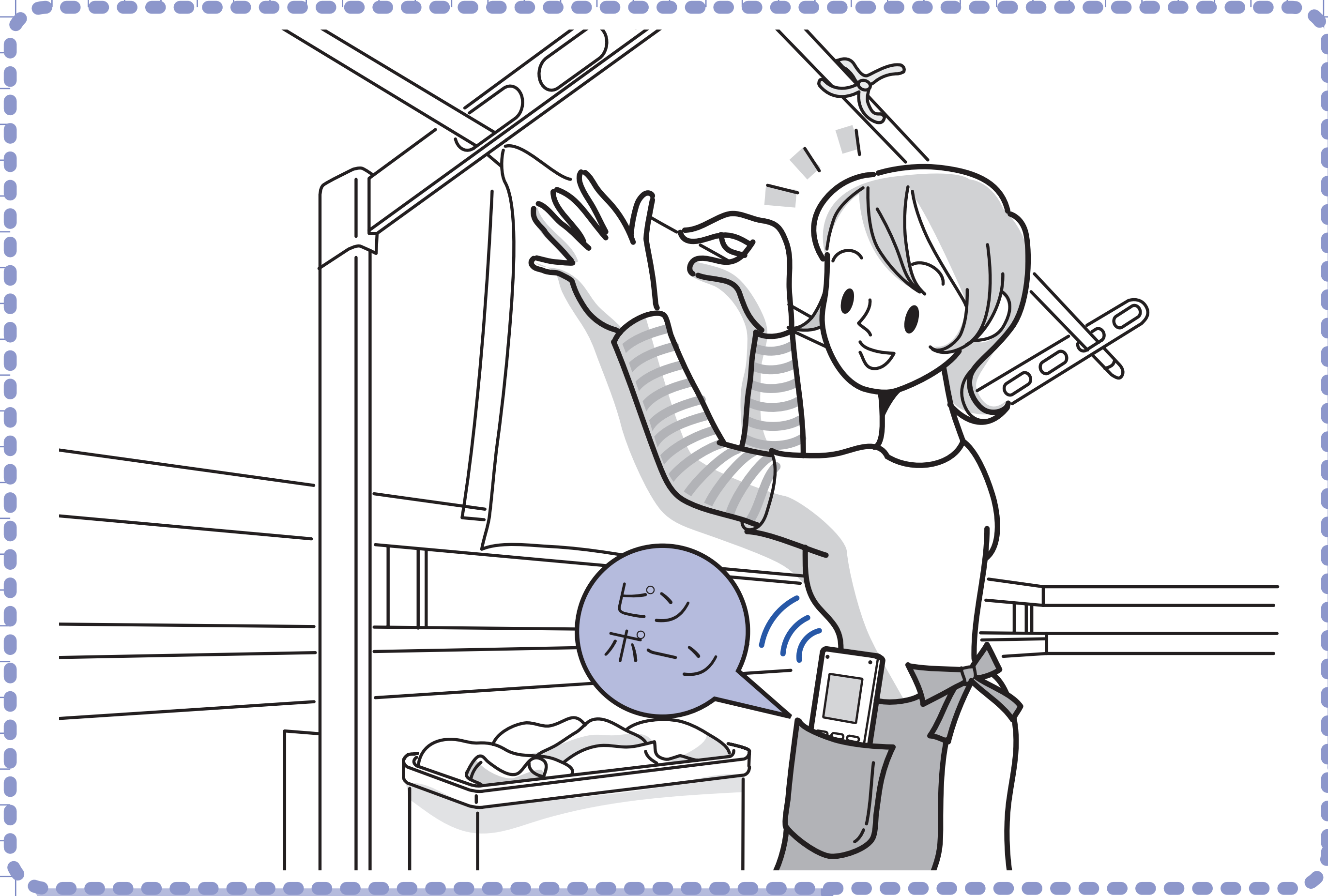
Ni-MH
ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

このたびは、ワイヤレスモニター付テレビドアホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(6 ～ 7 ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ワイヤレスの子機なら来客にもあわてずに



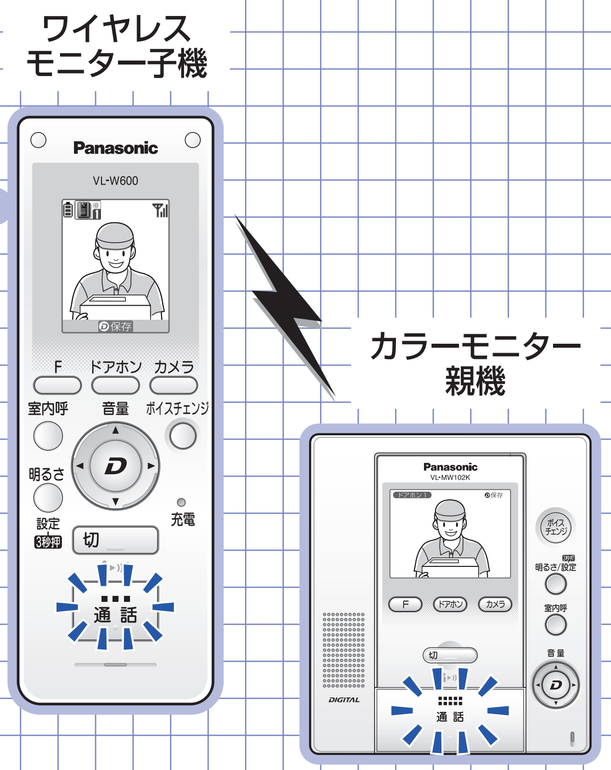


カラーカメラ
玄関子機



パソコンを使って、パナソニックのテレビドアホンの製品情報をインターネットで見ることができます。
パナソニック　テレビドアホンホームページ　　http://panasonic.jp/door/

持ち運びができるから応対できます





こんなこともできます

●録画機能（☞ 30 ページ）

留守中の来訪者も確認できる

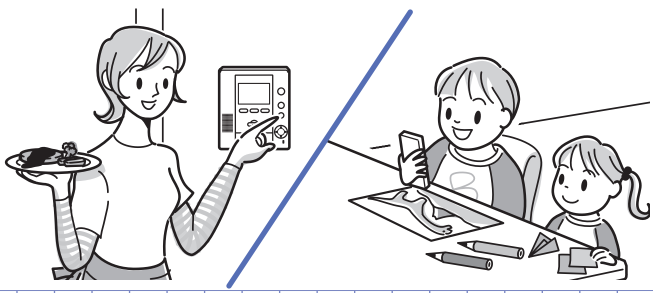
来客の映像を自動で録画します。また、モニター画面を見ながらの録画もできます。



●室内通話（☞ 36 ページ）

家族間で簡単なやりとりもできる

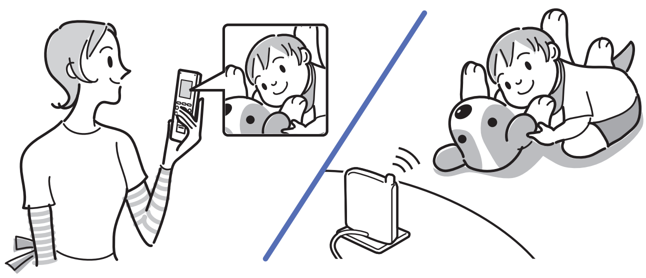
親機と子機との間で通話ができます。（映像は映りません）



●別売のワイヤレスカメラを使う（☞ 26 ページ）

離れた部屋の様子がいつでもモニターできる

ワイヤレスだから設置も移動も簡単にできます。
（電源コンセントが必要です）



はじめに

本書の表記について

本書では説明をわかりやすくするために、下記のように名称を省略したり、マークを使って表記しています。

				（別売品）
正式名称	カラーモニター親機	ワイヤレスモニター子機	カラーカメラ玄関子機	ワイヤレスカメラ
本書での表記	親 機	子 機	ドアホン	カメラ

	操作上、お守りいただきたい重要事項や禁止事項を記載しています。 必ずお読みください。
	操作の参考となることや、補足説明を記載しています。
（☞ ○○ページ）	説明上、参照していただきたいページを記載しています。

商標・登録商標について

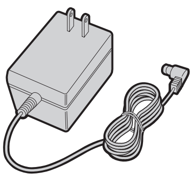
記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

付属品について

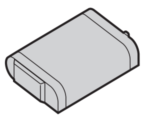
ご使用いただく前にお確かめください。万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

ワイヤレスモニター子機用

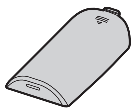
☐ AC アダプター（長さ約 1.8 m）.....1 個



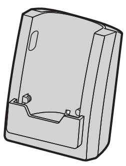
☐ 電池パック ....1 個（☞ 裏表紙）



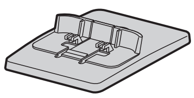
☐ 電池カバー ....1 個



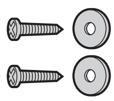
☐ 充電台 ....1 個



☐ 充電台スタンド.......1 個



☐ 充電台壁掛け用木ねじ・ワッシャー..............................各 2 個



●カラーモニター親機とカラーカメラ玄関子機を取り付けるための付属品は、別添付の工事説明書に記載しています。

☑ 取扱説明書（本書）...1 冊　☐ 工事説明書 ....1 冊　☐ 保証書 ....1 式

もくじ

確認と準備

ドアホンを使う

カメラ(別売品)を使う

録画機能

室内通話

もっと便利に

必要なとき

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

電池パックについて

■分解・改造しない

分解禁止　液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■指定の電池パック以外は使用しない

禁止　液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■火の中に捨てたり加熱しない

禁止　液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■⊕⊖端子を金属などに接触させない

禁止　液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■付属の電池パックを、この機器以外に使用しない

禁止　液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■液もれしたとき、“液”に触れたり目に入れない

禁止　目に入ると、失明の原因になります。

●目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

■ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

禁止　液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■専用の充電台と AC アダプターを使用して指定の電池パックを充電する

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

⚠警告

■分解・修理・改造しない

分解禁止　火災・感電の原因になります。

●修理は販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは電源プラグや AC アダプターを抜く

電源プラグを抜く　そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

●使用を中止し、販売店へご相談ください。

■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁止　火災・感電の原因になります。

●ぬらした場合は、電源プラグまたは AC アダプターを抜いて販売店へご相談ください。

⚠ 警告

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

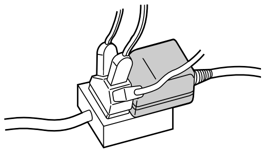
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

禁止　傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない

禁止



たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■医用電気機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）

禁止　本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■ぬれた手で、電源プラグや AC アダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止　感電の原因になります。

■雷が鳴ったら親機や電源コード・電源プラグ・AC アダプターに触れない

接触禁止　感電の原因になります。

■指定以外の機器は接続しない

禁止　火災・感電の原因になります。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止　本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■電源プラグや AC アダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源プラグや AC アダプターのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグや AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

■心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止　火災・感電の原因になることがあります。

■不安定な場所や、振動の激しい場所では使用しない

禁止　落下により、破損やけがの原因になることがあります。

■スピーカーに耳を近づけて使用しない

禁止　急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。

正しくお使いいただくためのお願い

ご使用にあたって

● 本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。

● 本機を分解・改造することは法律で禁じられています。故障の際は、お買い上げの販売店に修理の依頼をしてください。

● 停電すると、本機は使えません。

● 録画した画像について
➡ 使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど、録画した画像が変化・消失する場合があります。
（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

子機の設置場所（こんなところに置かない）

● 火気や熱器具の近く
➡ 変形や故障の原因になります。

● 電気製品（テレビ、電子レンジ、パソコンなど）の近く
➡ 子機が使えなくなる原因になります。
（☞ 9 ページ）

● 直射日光のあたるところ、冷暖房機の近く
➡ 40 ℃以上、0 ℃以下になるところでは、誤動作・変形・故障の原因になります。



● 寒い場所から急に暖かい場所に移動させたときは、しばらく放置してから接続、使用してください。
➡ 結露が発生して、故障や誤作動の原因になります。

親機やドアホンの設置場所については、別添付の工事説明書をよくお読みください。

子機やカメラ（別売）での通信について

● 親機との間に何も障害物がない場合、約 100 m 以内の距離で使えます。

● 親機との間に下記のような障害物などがあると電波が遮られて極端に弱くなります。このため、親機との距離が近くても、プツプツ音がして音声が途切れたり、映像が乱れたり、映像の更新が遅くなったり、圏外になって使えないことがあります。
・金属製のドアや雨戸
・アルミはく入りなどの断熱材が入っている壁
・コンクリートやトタン製の壁
・木造の家屋内でも、壁などの障害物が多いとき
（親機と別の階や、別の家屋で子機やカメラを使うときなど）

● 補聴器をお使いの場合、補聴器の種類によっては通信中の機器に雑音が入ることがあります。



（例：子機での通信）

傍受について

本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースがあります。

● **傍受（ぼうじゅ）とは、** 無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

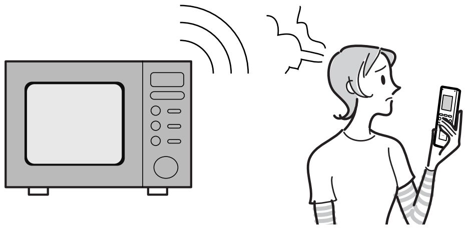
電波の干渉について

本機は、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器が使用していますので、電波の干渉による音声や映像の乱れなど、本機や他の機器の動作や性能に悪影響を及ぼすことがあります。
本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の機器から約 3 m 以上離して設置、使用してください。

● **電子レンジ**

● **無線 LAN 機器（ルーター、AV 機器、防犯機器など）**

● **ワイヤレス AV 機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）**



その他、下記の機器も影響が出る場合があります。

- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
- アマチュア無線局
- マイクロ波治療器
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- デジタルコードレス電話機（ファクス）
- その他、Bluetooth™ 対応機器や VICS（道路交通情報通信システム）など

おしらせ

● **本機は、2.4 ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です。
移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS 方式」、
与干渉距離は 80 mです。
本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。**

2.4FH8

電波に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター（ ☞ 60 ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（ ☞ 60 ページ）へお問い合わせください。

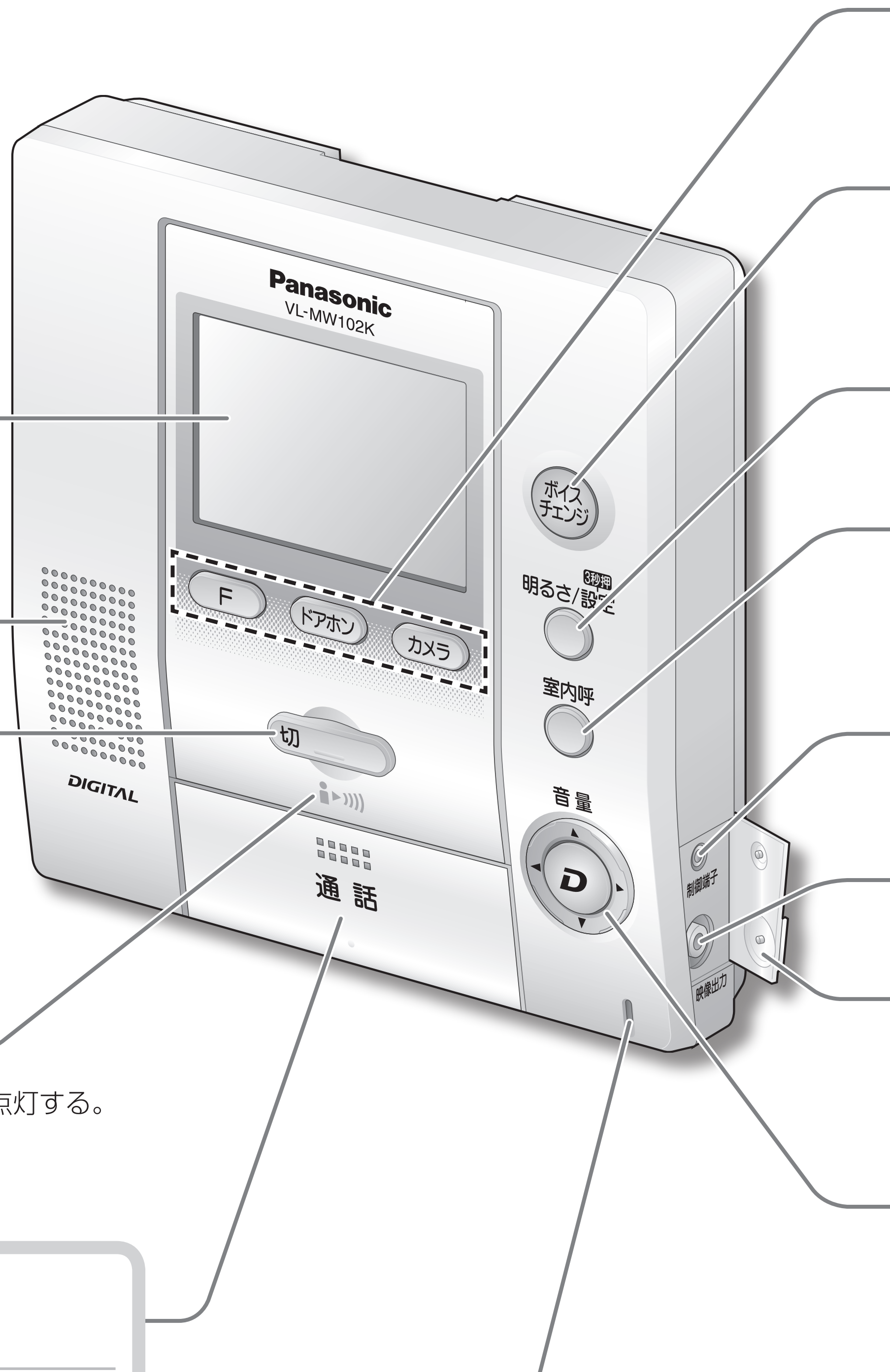
プライバシー・肖像権について

ドアホン・カメラ（別売）の設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

各部のなまえとはたらき

親　機



モニター画面
（☞ 12 ページ）

スピーカー

【切】ボタン
- 通話などの操作を終了するときに押す。
- 待ち受け中に押すと、情報表示画面を確認できる。（☞ 12 ページ）

送話ランプ
こちらの声が相手に聞こえているときに点灯する。

【通話】ボタン
通話するときに押す。（☞ 20 ページ）

通話ランプ（▪▪▪▪▪）
ドアホンや子機からの着信中は点滅、通話中は点灯する。

マイク
話すとき、手でふさがないでください。

【F】ボタン

電気錠などの機能を登録して使う。（☞ 46 ページ）

【ドアホン】ボタン

外の様子を確認するときに押す。（☞ 25 ページ）

【カメラ】ボタン 別売のカメラ増設時のみ

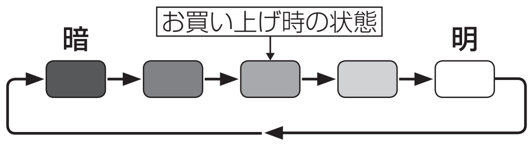
カメラ周辺の様子を確認するときに押す。（☞ 27 ページ）

【ボイスチェンジ】ボタン

声を変えて話すときに押す。
（☞ 21 ページ）

【明るさ / 設定】ボタン

- 映像（画像）の明るさを変えるときに押す。
  ➡ 押すごとに明るさが切り替わる（5 段階）



- 約 3 秒間押すと、機能設定画面を表示する。
  （☞ 38 ページ）

【室内呼】ボタン

子機を呼び出すときに押す。
（☞ 23、36 ページ）

外部制御端子（予備）

何も接続しないでください。

映像出力端子

RCA ピンコード（市販品）を使ってテレビなどに接続すると、親機の画面に表示している映像（画像）をそのまま出力できる。
- ただし、接続するテレビの画面が大きいほど、画質は低下します。

端子カバー

マルチファンクションキー

	【▲】 【▼】	● ドアホンからの呼出音量を変える。（☞ 44 ページ） ● 受話音量を変える。（☞ 44 ページ） ● 項目を選ぶときや、再生する画像を選ぶときなどに使う。
	【◀】 【▶】	● カメラ（別売）からの呼出音量を変える。（☞ 44 ページ）
	【D】	● 映像を録画する。（☞ 31 ページ） ● 画像を再生する。（☞ 32 ページ） ● ドアホンやカメラ（別売）の未再生画像があるときは点滅する。（☞ 30 ページ）

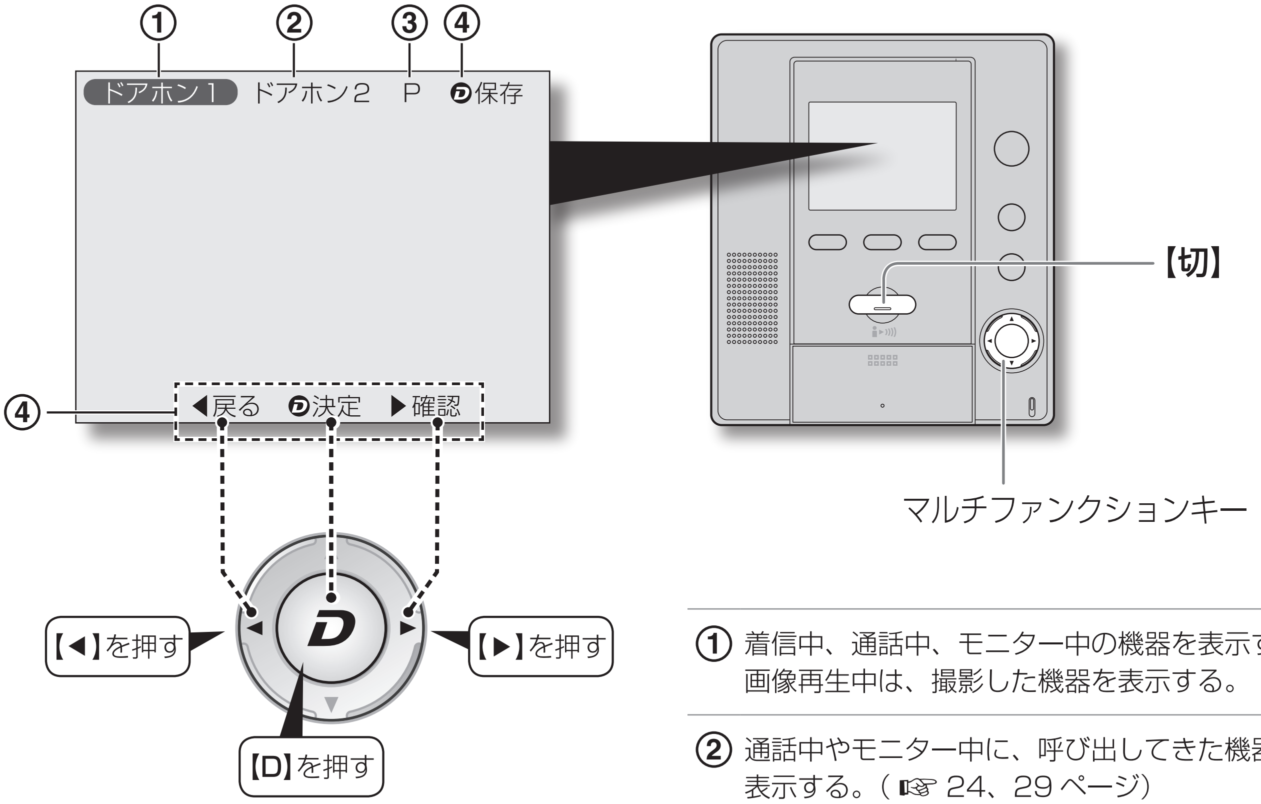
各部のなまえとはたらき

モニター画面（親機）

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

●待ち受け中はバックライトが消灯して何も見えなくなりますが、**【切】ボタン**を押すと〈情報表示画面〉を表示します。

〈操作中の画面〉



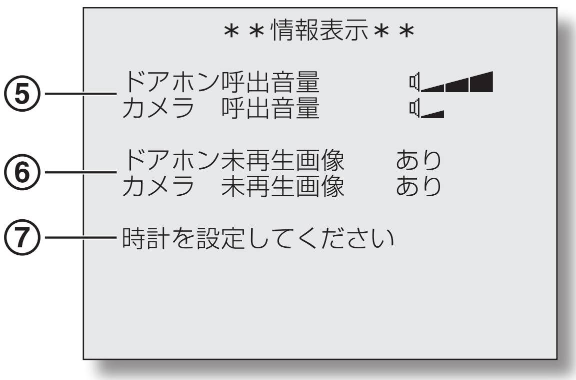
① 着信中、通話中、モニター中の機器を表示する。画像再生中は、撮影した機器を表示する。

② 通話中やモニター中に、呼び出してきた機器を表示する。（☞ 24、29 ページ）

③ プレストーク中に表示する。（☞ 21 ページ）

④ マルチファンクションキーで行う操作を表示する。
（表示は、操作する場面によって変わります）

〈情報表示画面〉



⑤ ドアホンやカメラ（別売）からの現在の呼出音量を表示する。
「切」に設定中は 切 を表示する。

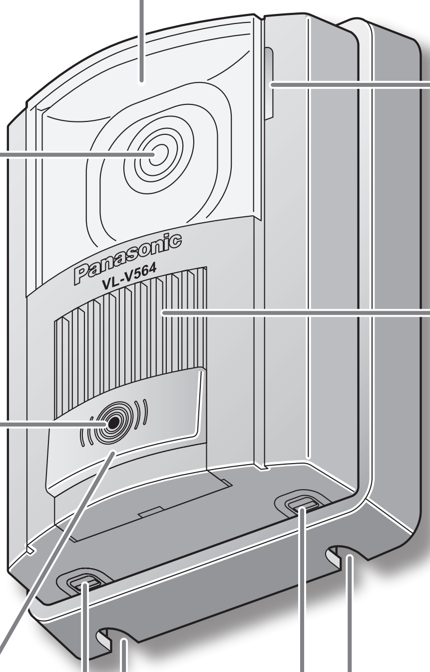
⑥ ドアホンやカメラ（別売）の未再生画像があるときに表示する。

⑦ 日時が設定されていないときに表示する。
（☞ 19 ページ）

モニター画面の映像表示について

カメラ（別売）からの映像は、約 3 秒ごとに更新しながら表示されます。（動画ではありません）

ドアホン



パネル

カメラレンズ

マイク

スピーカー

位置表示ランプ(赤)

●暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する。

呼出ボタン

●押すと呼出音が鳴る。
●押し続けながら話すと、**「ただいまコール」**機能がはたらく。
(☞ 22 ページ)

水抜き穴(4か所)

●雨水を抜くための穴です。ふさがないでください。

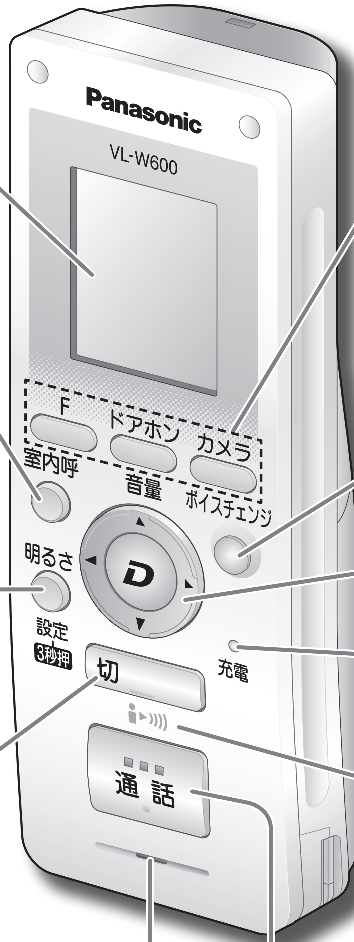
おしらせ

● ドアホンの映像は昼間など明るいところではカラー表示されますが、夜間など、ドアホン側が暗いときは白黒になります。

各部のなまえとはたらき

子　機

■ 正面



モニター画面
（☞ 16 ページ）

【室内呼】ボタン
親機や別の子機を呼び出すときに押す。
（☞ 23、37 ページ）

【明るさ / 設定】ボタン

●映像（画像）の明るさを変えるときに押す。
➡ 押すごとに下記の表示が切り替わる（5 段階）

暗 → → お買い上げ時の状態 → → 明

（設定した明るさに変わるまで、時間がかかります）

●約 3 秒間押すと、機能設定画面を表示する。
（☞ 38 ページ）

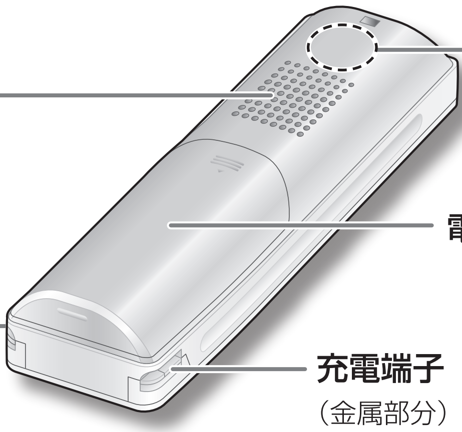
【切】ボタン
●通話などの操作を終了するときに押す。
●待ち受け中、モニター画面のバックライトを点灯させるときに押す。

マイク

【通話】ボタン
通話するときに押す。（☞ 20 ページ）

通話ランプ（▫▫▫）
ドアホンや親機からの着信中は点滅、通話中は点灯する。

■ 背面



スピーカー

アンテナ部（内蔵）
使用中、手でおおわないでください。
（電波の状態が悪くなります）

電池カバー
電池を交換するときに開ける。
（☞ 58 ページ）

充電端子
（金属部分）

充電端子
（金属部分）

【F】ボタン
電気錠などの機能を登録して使う。
（☞ 46 ページ）

【ドアホン】ボタン
外の様子を確認するときに押す。
（☞ 25 ページ）

【カメラ】ボタン 別売のカメラ増設時のみ
カメラ周辺の様子を確認するときに押す。
（☞ 27 ページ）

【ボイスチェンジ】ボタン
声を変えて話すときに押す。（☞ 21 ページ）

充電ランプ
充電中に点灯、充電が完了すると消灯する。
（☞ 18 ページ）

送話ランプ
こちらの声が相手に聞こえているときに点灯する。

マルチファンクションキー



【▲】
【▼】

- ドアホンからの呼出音量を変える。（☞ 44 ページ）
- 受話音量を変える。（☞ 44 ページ）
- 項目を選ぶときや、再生する画像を選ぶときなどに使う。



【◀】
【▶】

- カメラ（別売）からの呼出音量を変える。（☞ 44 ページ）
- 映像（画像）表示中に押すと、映像（画像）が少し左右に移動する。



【D】

- 映像を録画する。（☞ 31 ページ）
- 画像を再生する。（☞ 32 ページ）

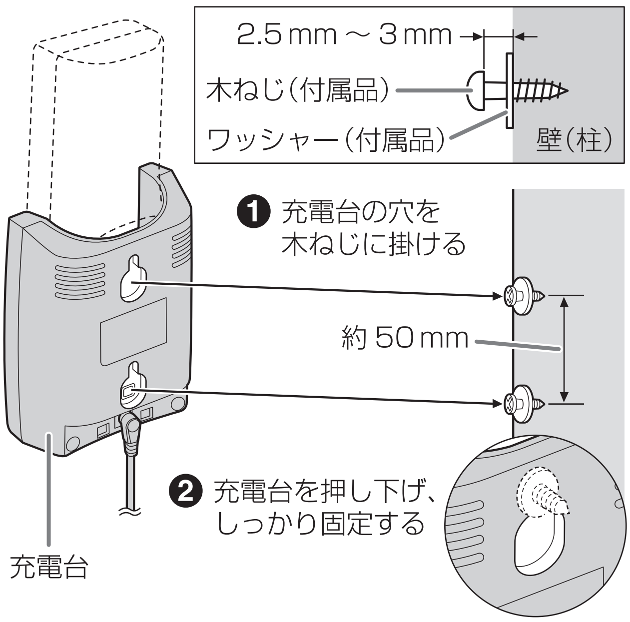
子機用充電台

- 組み立てかたは（☞ 18 ページ）



充電台を壁（柱）に掛けるとき

- 充電台スタンドは不要です。



壁掛寸法のめやす

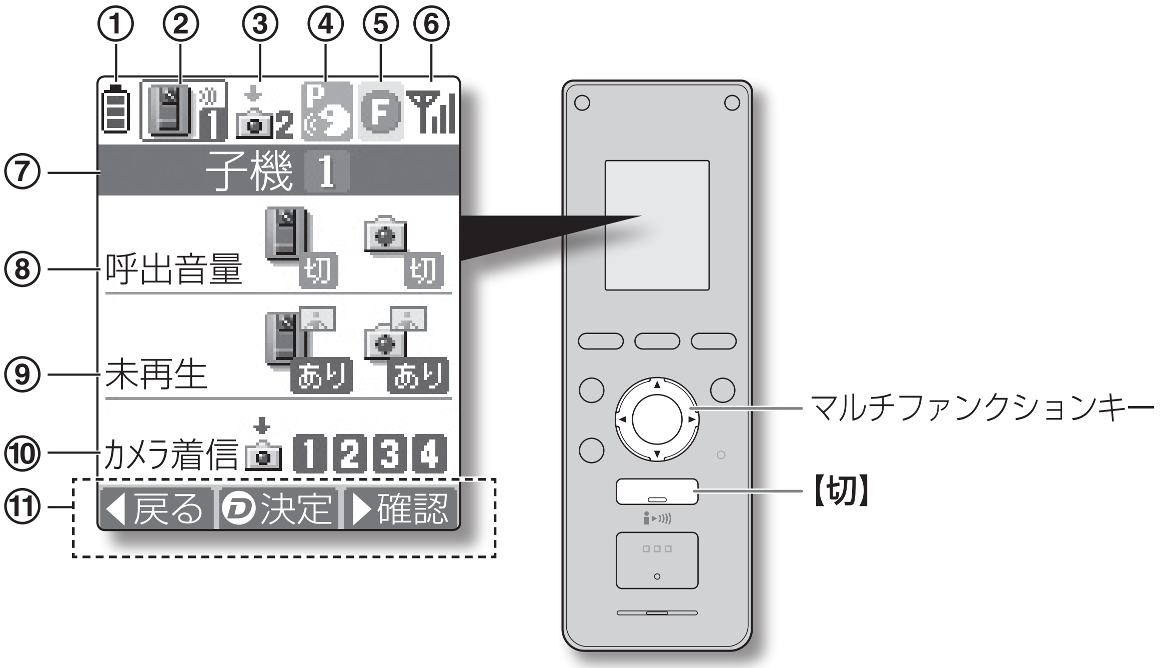
約 50 mm

各部のなまえとはたらき

モニター画面（子機）

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

●待ち受け中はバックライトが消灯して何も見えなくなりますが、**【切】ボタン**を押すと表示されます。



① 電池残量のめやすを表示する。

約 7 時間充電したあとの使用時間のめやす

●連続使用時間：約 2.5 時間※

●待ち受け時間：約 200 時間※
（充電台に置かずに一度も使用しないとき）
•「圏外」表示中（☞ 17 ページ）は、待ち受け時間が短くなる。

※使用環境温度が 20 ℃のとき

すぐに充電してください。

使用中	●4 秒ごとに「ピッピッ」と警告音が鳴り、約 60 秒後に通話が切れる。（点滅）
待ち受け時	●「充電してください」と表示する。（充電しないと使えません）

② 着信中、通話中、モニター中の機器を表示する。画像再生中は、撮影した機器を表示する。

ドアホン 1
（増設時は 2 も表示）

親機

子機 1
（増設時は 2 ～ 4 も表示）

カメラ 1（別売）
（増設時は 2 ～ 4 も表示）

③ 通話中やモニター中に、呼び出してきた機器を表示する。

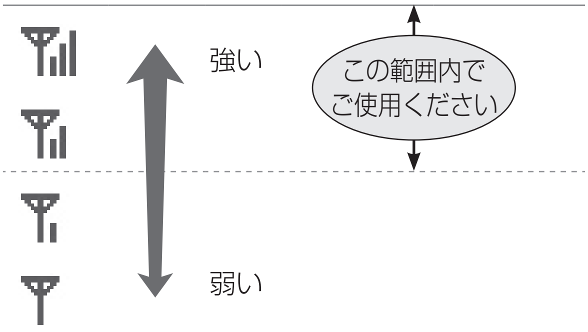
ドアホン 1
（増設時は 2 も表示）

カメラ 1（別売）
（増設時は 2 ～ 4 も表示）

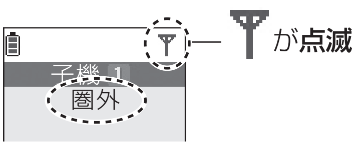
④ プレストーク中に表示する。（ ☞ 21 ページ）

⑤ 電気錠やエアコンなどの機器を親機に接続してご使用の場合、電気錠が施錠、または機器が ON の状態のときに表示する。（ ☞ 46 ページ）

⑥ 電波の状態を表示する。



● 親機からの電波が届かず、使用できないときは下記の表示になります。（親機に近づけてください）



⑦ 子機 1 ご使用の子機の番号を表示する。

⑧ ドアホンからの呼出音量を「切」に設定中に表示する。

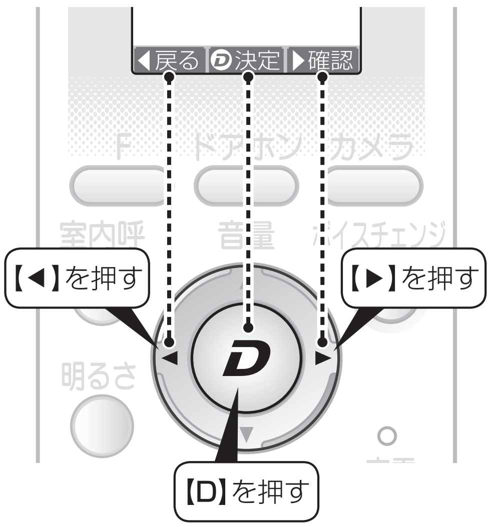
カメラ（別売）からの呼出音量を「切」に設定中に表示する。

⑨ ドアホンの未再生画像があるときに表示する。

カメラ（別売）の未再生画像があるときに表示する。

⑩ 通話中やモニター中に呼び出してきたカメラ（別売）に応答できなかったとき、そのカメラの番号を表示する。（増設時は 2 ～ 4 も表示）

⑪ マルチファンクションキーで行う操作を表示する。（表示は、操作する場面によって変わります）



モニター画面の映像表示について

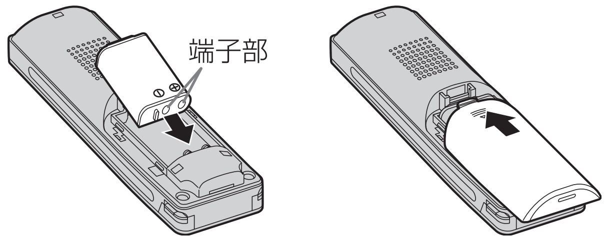
ドアホンやカメラ（別売）からの映像は、約 3 秒ごとに更新しながら表示されます。（動画ではありません）

子機を充電する

1 電池パックを入れる

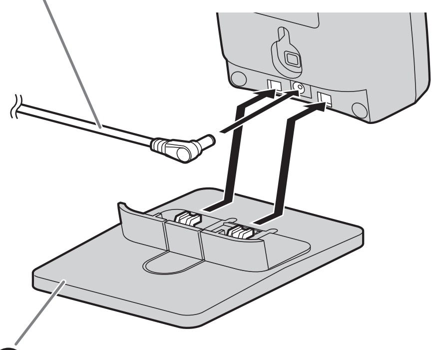
❶ 端子部を合わせ、
電池パックを入れる

❷ 電池カバーを閉める



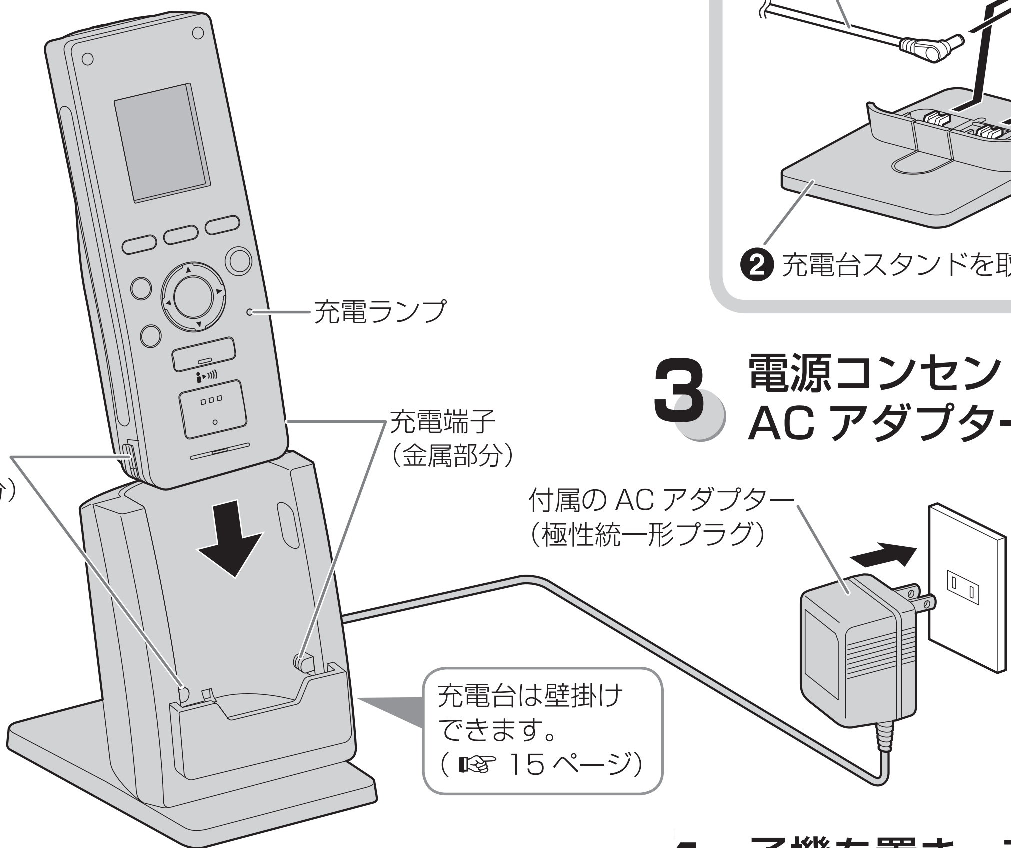
2 充電台を組み立てる

❶ ACアダプターのプラグを差し込む
●コードは左または右側に
引き出せます。



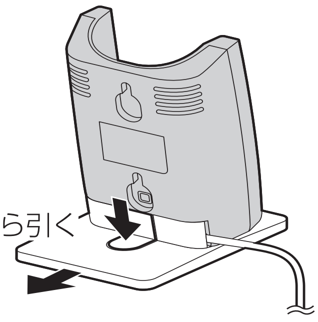
❷ 充電台スタンドを取り付ける

3 電源コンセントに ACアダプターをつなぐ



充電台は壁掛け
できます。
（☞ 15ページ）

〈充電台スタンドの取り外しかた〉



4 子機を置き、充電する

充電中　：充電ランプが**点灯**
充電完了：充電ランプが**消灯**

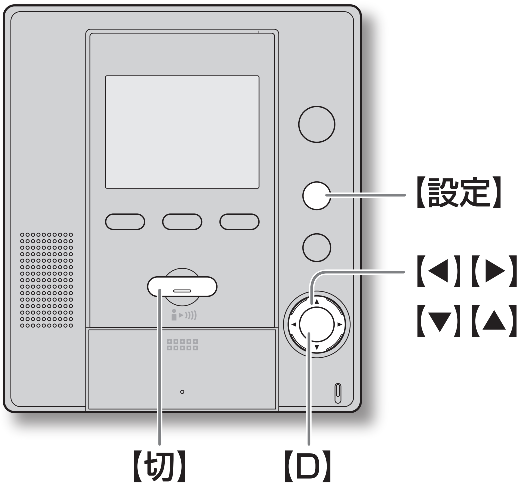
- 初めての充電や電池交換の際は、充電完了までに約7時間かかります。
- 子機を途中で使用したりすると、充電時間が長くなります。
- 充電台は、子機に「圏外」と表示されない場所に設置してください。
（圏外の場所では、充電時間が長くなります）

おねがい

- 充電端子が汚れたときは、ふいてください。（☞ 58ページ）
- 1週間以上、子機を充電台から外したり、ACアダプターを抜くときは、電池パックを外してください。
（電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため）➡ 次に使うときは充電してください。

日時を設定する

本機には録画機能があります。日時設定をしないと、録画時に日時が記録されません。
設定は親機で行います。



1 待ち受け中に、【設定】を約 3 秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 【▼】【▲】で その他 を選ぶ

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

3 【D】を押し、【▼】【▲】で 日時 を選ぶ

＊＊機能設定／その他＊＊
1／2
日時
呼出音
鳴り分け
A接点
拡張機器
ドアホン接続

4 【D】を押し、日時を設定する

【◀】【▶】：年・月・日・時・分の項目を選ぶ
【▼】【▲】：数字を選ぶ
（押し続けると数字が早く切り替わる）

（設定例）
＊＊日時＊＊
2005年10月　1日　15：00

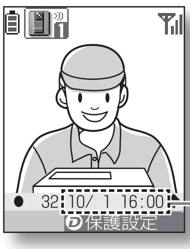
5 設定が終わったら、【D】を押す

● 手順 3 の画面を表示する

6 【切】を押す

例：10 月 1 日　16：00 に
録画した画像の再生画面

（子機）



録画日時

（親機）



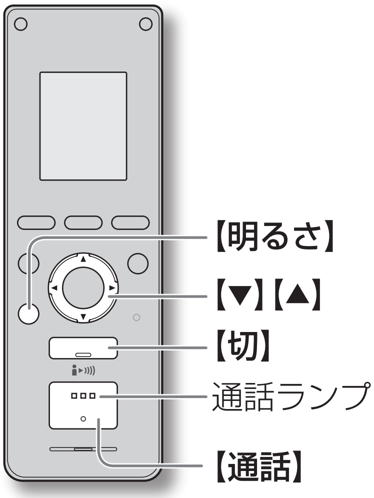
録画日時

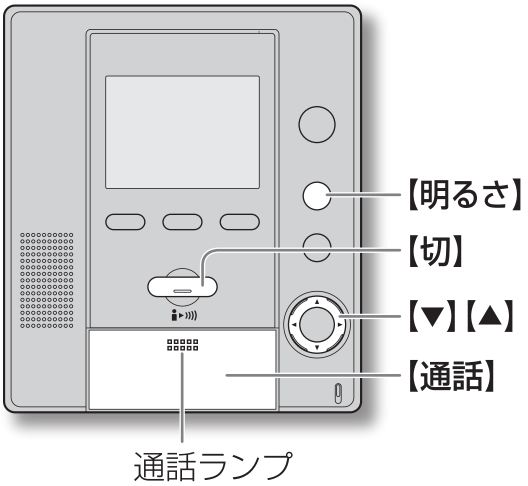
おしらせ
● 時刻は、1 か月に約 60 秒ずれることがあります。

呼び出しに応答する

ドアホンから呼び出しがあると、呼出音が鳴り、通話ランプが点滅します。
モニター画面に映像が映るので、応答前に相手を確認できます。







1

呼出音が鳴ったら、

【通話】を押す

2

相手と話す

● 相手と交互にお話しください
（同時に話すと声が途切れます）



■ 通話中の音量を変えるには
➡【▼】または【▲】を押す

■ 画面の明るさを変えるには
➡【明るさ】を押す（☞ 11、14 ページ）

3

終わったら、

【切】を押す

おしらせ

● 呼び出しは約 30 秒、通話は約 90 秒で自動的に終了し、映像が消えます。
➡【通話】を押すと、相手につながり再び話ができます。
● 着信時の相手の映像が自動で録画されます。留守などで応答できなかったときも録画されます。（☞ 30 ページ）
● 通話中など、画面を見ながら手動で録画もできます。（☞ 31 ページ）
● 呼出音の音色や音量は変更できます。（☞ 44 ページ）
● **夜間など、ドアホン側が暗いときは白黒映像になります。**

〔別売のドアホンやカメラを増設してご使用のとき〕
● 着信中に別のドアホンやカメラから呼び出しがあると、あとから呼び出した機器の着信に切り替わります。
● 通話中に別のドアホンやカメラから呼び出されたら（☞ 24 ページ）

周囲が騒がしく通話しにくいとき（プレストーク通話に切り替える）

下記の操作で【通話】ボタンを使って送話と受話を切り替え、相手と交互に通話すると、話しやすくなります。（親機でも子機でも同じ操作でできます）

1 通話中に「ピッ」と鳴るまで、**【通話】を約 2 秒間押す**

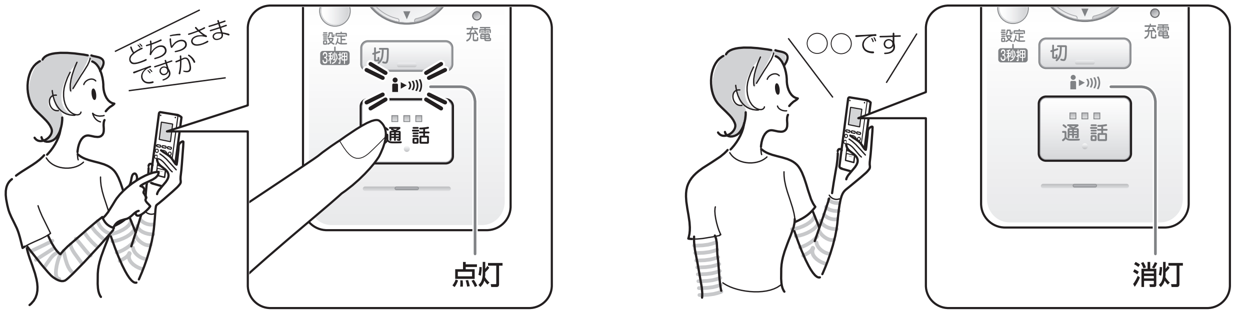
● 親機は「P」、子機は  を表示

2 話すとき（送話）

【通話】を押したまま話す

話を聞くとき（受話）

【通話】から指を離す



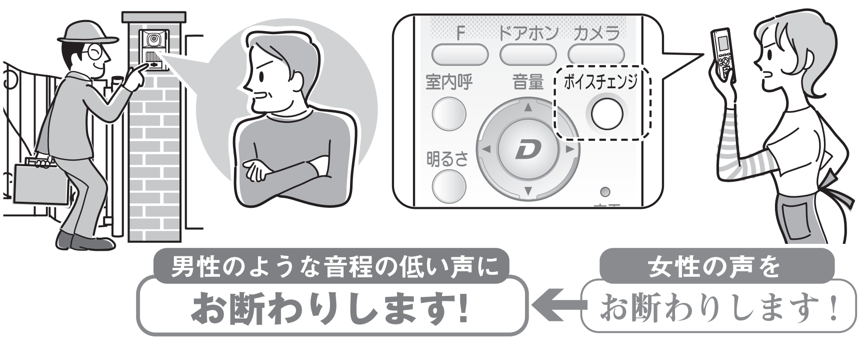
おしらせ
● 通話終了後、プレストーク通話は解除されます。
● 室内通話中や別売のカメラとの通話中も、この機能が使えます。

声を変えて話す（ボイスチェンジ）

女性などの高い声を男性のような低い声に変えて話すことができます。（親機でも子機でも同じ操作でできます）

1 着信中または通話中に、**【ボイスチェンジ】を押す**

● **【ボイスチェンジ】**ボタンが点灯（再度押すと消灯し、元の声に戻る）



おしらせ
● ボイスチェンジの声の高さは 2 段階で、設定により変更できます。（☞ 39、40 ページ）
● 通話終了後、ボイスチェンジは解除されます。
● 別売のカメラとの通話にも、この機能が使えます。

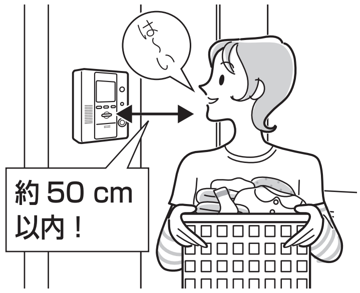
呼び出しに応答する

声で応答する（音声応答）

【通話】ボタンを押さずに応答できるので、手が離せないときなどに便利です。（親機でも子機でも同じ操作でできます）
あらかじめ設定が必要です。（☞ 39、40 ページ）

1 呼出音が鳴ったら、**「はーい」などの声で応答する**

●「ピッ」と鳴ったら、相手と話ができる



おしらせ

● 応答時の「はーい」は相手に聞こえません。
●「はーい」などの声を伸ばしすぎる（約 1 秒以上）と、応答できません。
● 周囲の音（ペットの鳴き声やテレビなど）が大きいと、呼び出しに応答してしまうことがあります。
● 子機を親機の近くに置いているときは、お互いの呼出音で呼び出しに応答してしまうことがあります。
● 室内通話にも、この機能が使えます。

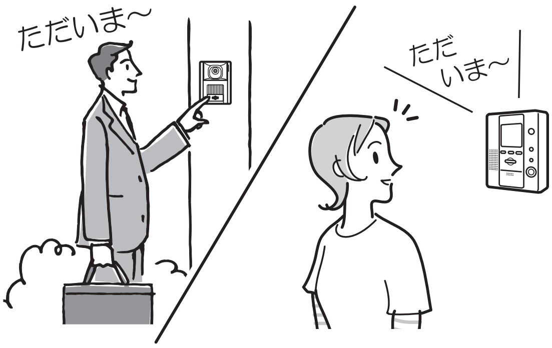
帰ったことを家族に知らせる（ただいまコール）

室内の相手が応答しなくても、ドアホンから「ただいま」などと親機に呼びかけできます。

1 **ドアホンの呼出ボタンを押したまま、約 3 秒後に呼びかける**

● 親機にのみ呼びかけが聞こえる
（子機でも呼出音が鳴って映像が映りますが、呼びかけは聞こえません）

2 終わったら、**呼出ボタンから指を離す**



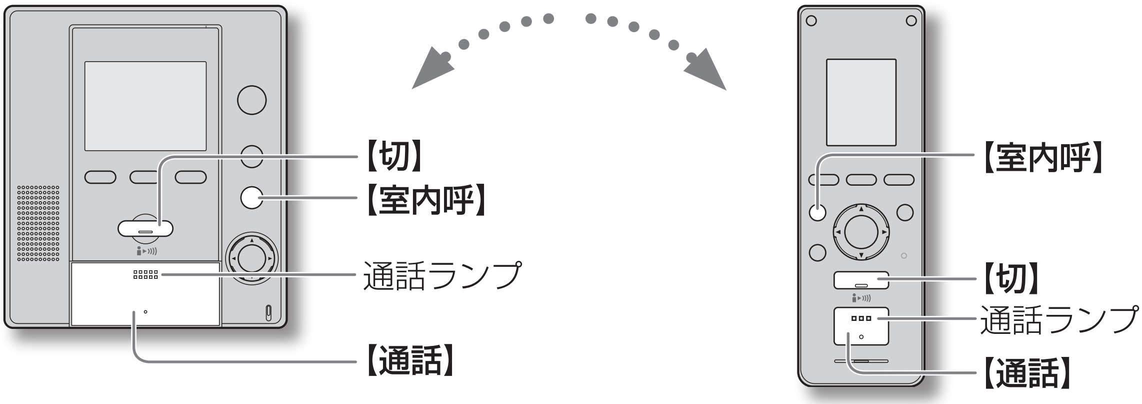
おしらせ

● 手順 1 で、呼出ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます。
● 室内で、ただいまコールに応答するには
➡ **【通話】**を押し、話す
（親機では、音声応答に設定していても、声で応答することはできません）

通話を転送する

ドアホンとの通話を、親機・子機の間で転送できます。

- どちらから転送する場合も、操作は同じです。
- 別売の子機を増設しているときは、子機間での転送もできます。



転送する側	→	転送先

1

ドアホン通話中に、

【室内呼】を押し、転送先の相手に呼びかける

- ドアホンの映像が消え、通話ランプが点滅



呼びかけが聞こえたら、

【通話】を押し、室内の相手と話す



2

通話を転送することを伝え、【切】を押す

- 室内通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できる



ドアホン側の相手と話す

- ドアホンの映像が映る
- 終わったら、【切】を押す



おしらせ

- 室内通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。
- 転送先の相手が出ないときや室内通話中に、ドアホンとの通話に戻るには
  ➡【通話】を押す
- 別売の子機を増設しているときは、手順 1 で一斉に呼びかけが聞こえます。

別売の子機を増設すると個別呼び出しができます

あらかじめ設定が必要です。（☞ 39、40 ページ「室内呼出」）

① ドアホン通話中に、【室内呼】を押し、【▼】【▲】で転送先を選ぶ

②【D】を押し、呼びかける
  ➡ 指定した相手にだけ呼びかけが聞こえる

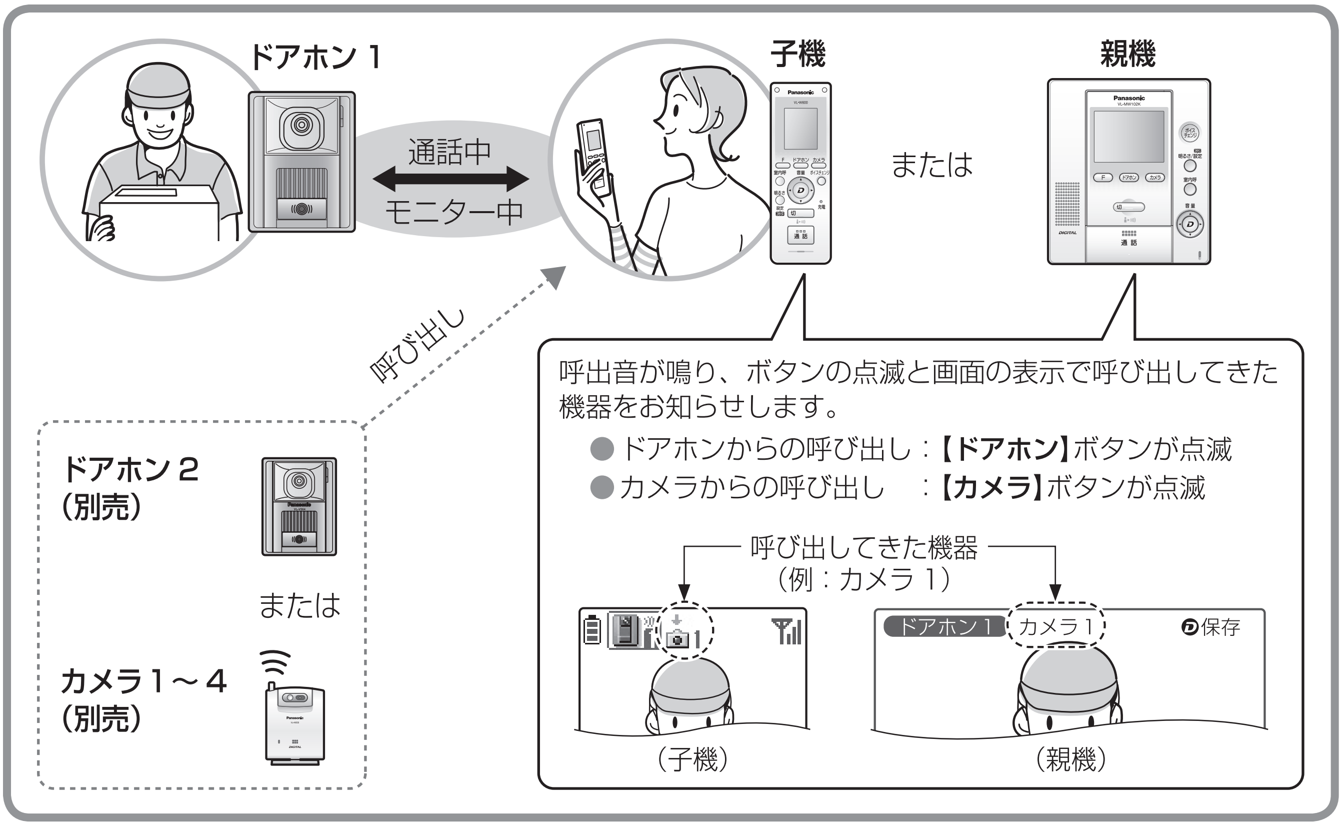
③相手が出たら、通話を転送することを伝え、【切】を押す
  ➡ 転送先の相手がドアホンと通話できる

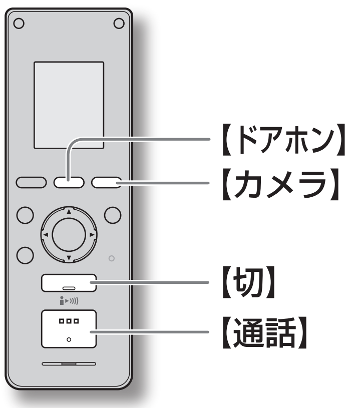
（例：親機から子機１に転送するとき）

＊＊室内呼（保留）＊＊
一斉
子機１
子機２
子機３
子機４

呼び出しに応答する

通話中やモニター中に別の呼び出しがあったとき



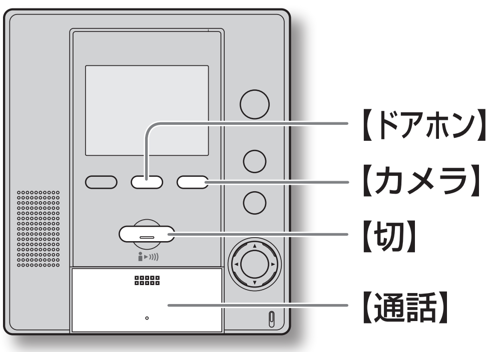


呼び出しに応答するとき

1 **点滅している【ドアホン】または【カメラ】を押す**

● 映像が切り替わり、周囲の音が聞こえる
（こちらの声は相手側には聞こえません）

■ **相手と話すには**
➡ **【通話】**を押す



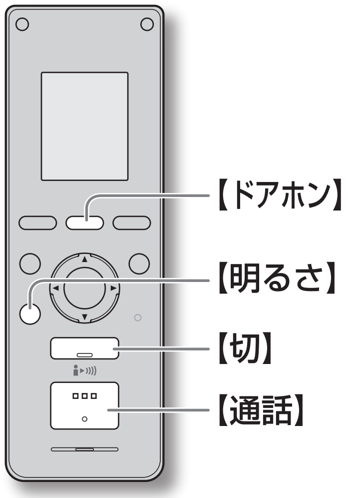
2 終わったら、
【切】を押す

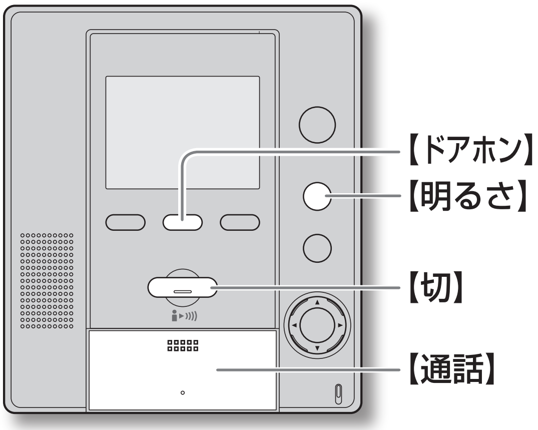
おしらせ

● 別の呼び出しに応答したあと、最初に通話またはモニターしていたドアホンに戻るには
➡ 25 ページの手順 1 から操作してください。

外の様子を確認する（ドアホンモニター）

玄関先の様子を映像と音で確認できます。（親機でも子機でも同じ操作でできます）





1 【ドアホン】を押す

● 玄関先の様子が映り、周囲の音が聞こえる
（こちらの声はドアホン側には聞こえません）

■ **画面の明るさを変えるには**
➡ **【明るさ】**を押す（☞ 11、14 ページ）

■ **ドアホン側の相手と話すには**
➡ **【通話】**を押す

2 終わったら、【切】を押す

ドアホンが 2 台あるとき

手順 1 で、【ドアホン】を繰り返し押し、確認したいドアホンを選ぶ

ドアホン 1 → ドアホン 2 →（ドアホン 1 に戻る）

おしらせ

● **夜間など、ドアホン側が暗いときは白黒映像になります。**
● モニターは約 90 秒で自動的に終了します。

〔別売のドアホンやカメラを増設してご使用のとき〕
● モニター中に別のドアホンやカメラから呼び出されたら（☞ 24 ページ）

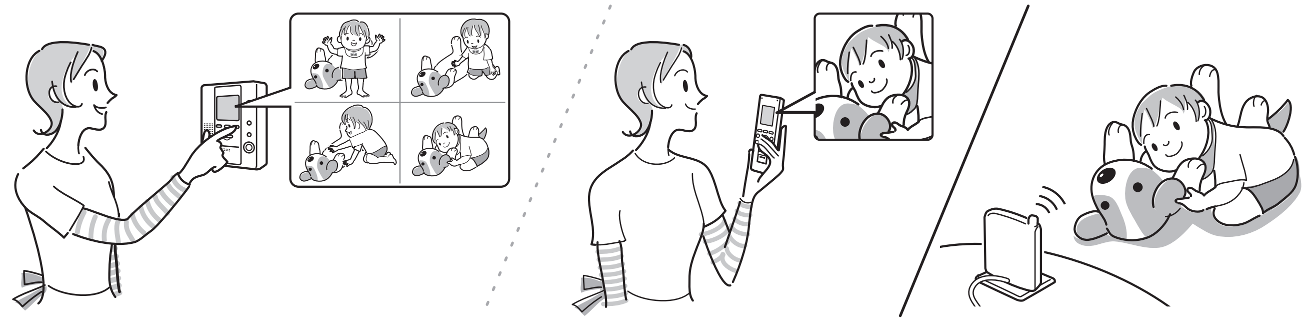
カメラを使ってできること

別売のワイヤレスカメラ※(☞ 裏表紙)を増設すると、下記のような使いかたができます。
ワイヤレスカメラに添付の説明書で、設置場所や人感センサーの検知範囲などを十分ご理解のうえ、ご使用ください。

● 増設のしかた(☞ 51 ページ)

別の部屋の様子などを確認できます

※ 画質はドアホンよりも多少劣ります。



人感センサーが反応して、呼出音と映像でお知らせします

センサー反応時に 1 枚、その後約 3 秒おきに 3 枚(計 4 枚)の映像を自動で録画します。
留守などで応答できなかったときも録画されるので、あとで確認できます。(☞ 30 ページ)

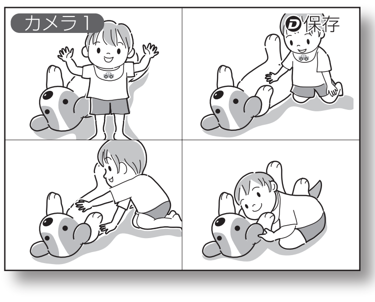


親機の画面表示について

お買い上げ時は、右記のような 4 画面表示で 4 つの映像を次々に更新していきます。(動画ではありません)
画面全体に 1 つの映像を表示(1 画面表示)して更新させることもできます。(☞ 39 ページ「カメラ表示数」)

● ただし、映像を引き伸ばして表示するため画質は低下します。

(4画面表示)



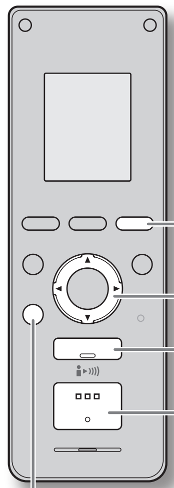
おしらせ

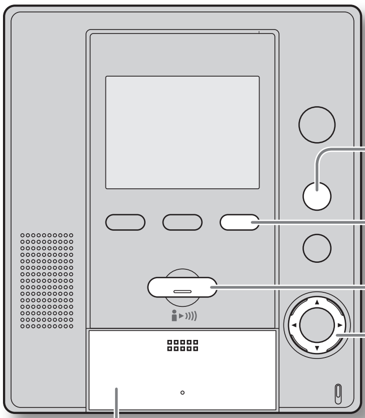
- カメラからの映像を拡大して表示できます。(あらかじめ設定が必要です ☞ 41 ページ「**ズーム**」)
- 人感センサー反応時は、カメラ側でも音(カメラ出力音)が鳴ります。
  カメラ出力音の種類や音量は変更できます。(☞ 40 ページ「**カメラ出力音**」「**カメラ出力音量**」)
- 一度センサーが反応すると、約 60 秒間は次の反応を行いません。
  時間間隔は変更できます。
- センサー反応時に自動録画しないよう設定することもできます。

(上記 2 項目:☞ 41 ページ「**センサー種別**」)

カメラ周辺の様子を確認する（カメラモニター）

カメラを設置した場所のまわりの様子を、映像と音で確認できます。
（親機でも子機でも同じ操作でできます）





1 【カメラ】を押す

● カメラ側の様子が映り、周囲の音が聞こえる
（こちらの声はカメラ側には聞こえません）

■ **カメラ側の相手と話すには**
➡ **【通話】**を押す

■ **通話中の音量を変えるには**
➡ **【▼】**または**【▲】**を押す

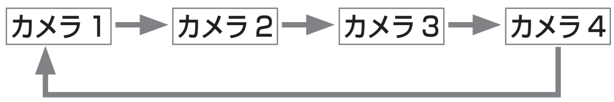
■ **画面の明るさを変えるには**
➡ **【明るさ】**を押す（☞ 11、14 ページ）

2 終わったら、【切】を押す

カメラが 2 台以上あるとき

手順 1 で、【カメラ】を繰り返し押し、確認したいカメラを選ぶ

（例：カメラが 4 台の場合）

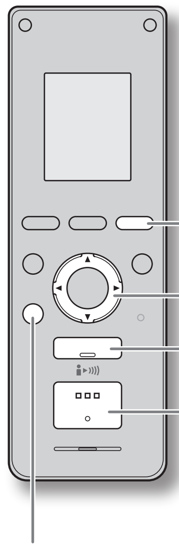


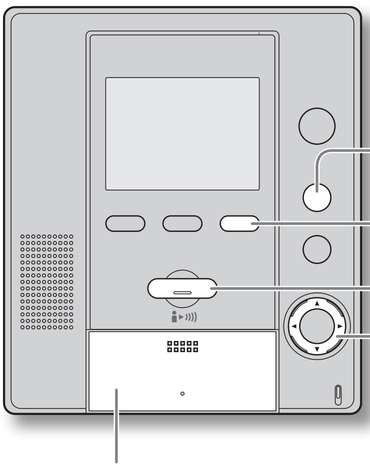
おしらせ

● モニターは約 90 秒で自動的に終了します。
● モニター中にドアホンや別のカメラから呼び出されたら（☞ 29 ページ）
● **カメラの画質について（下記のような場合があります）**
- 静止画のため、動いている人がぶれる
- 逆光のとき、人の顔が暗くなる
- 色合いが、実際の色と異なる
- 蛍光灯を映すと、周りにかすみがかかったようになる

カメラからの呼び出しに応答する

センサーがはたらくと、呼出音が鳴って【**カメラ**】ボタンが点滅し、モニター画面にカメラの映像が映ります。





1 呼出音が鳴ったら、

【カメラ】を押す

● カメラ側の音が聞こえる
（こちらの声はカメラ側には聞こえません）

■ **カメラ側の相手と話すには**
➡【**通話**】を押す

■ **通話中の音量を変えるには**
➡【**▼**】または【**▲**】を押す

■ **画面の明るさを変えるには**
➡【**明るさ**】を押す（ ☞ 11、14 ページ）

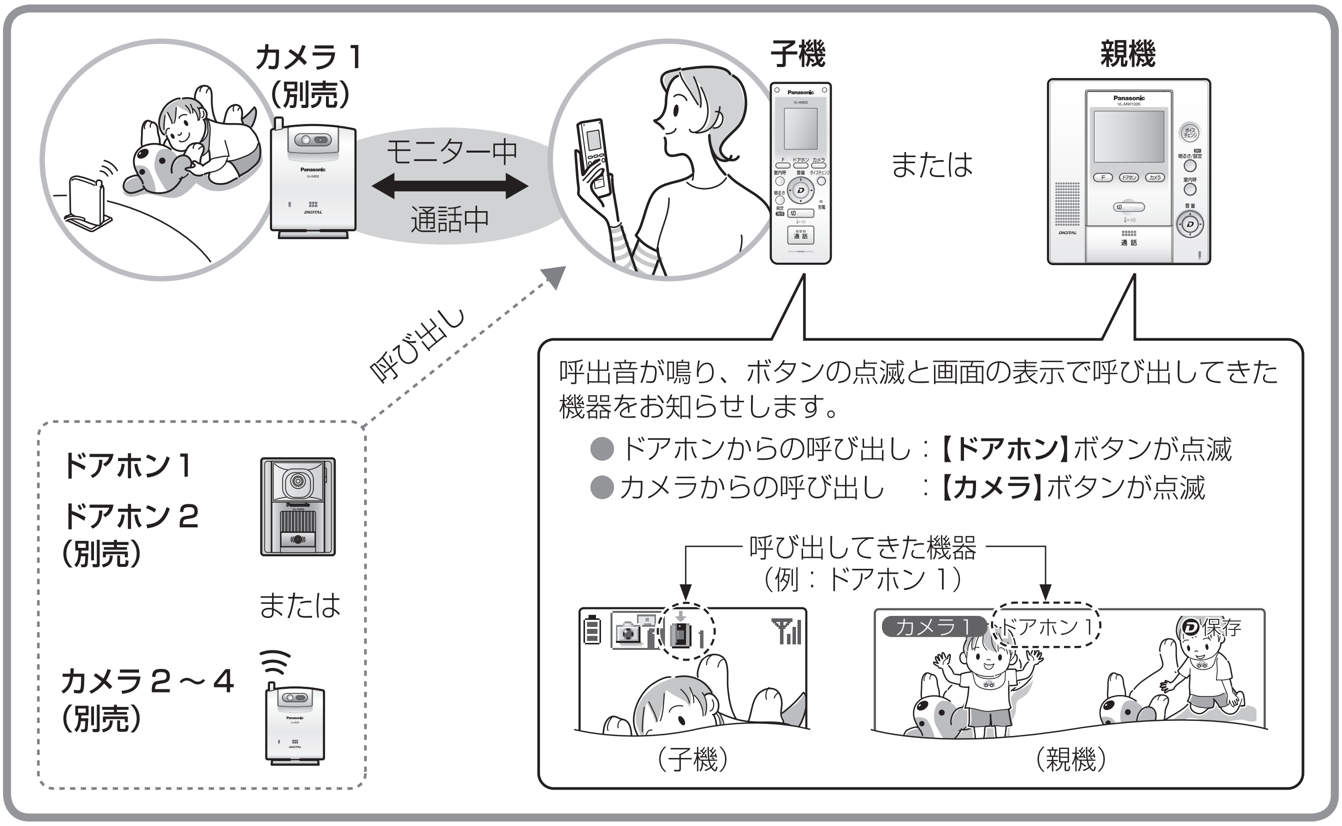
2 終わったら、

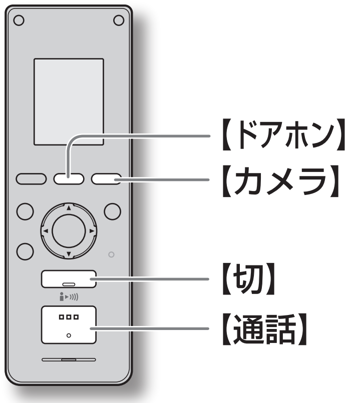
【切】を押す

おしらせ

● 呼び出しは約 30 秒、モニターや通話は約 90 秒で自動的に終了し、映像が消えます。
● センサー反応時に 1 枚、その後約 3 秒おきに 3 枚(計 4 枚)の映像を自動で録画します。
留守などで応答できなかったときも録画されます。（ ☞ 30 ページ）
● モニター中など、画面を見ながら手動で録画もできます。（ ☞ 31 ページ）
● 呼出音の音色や音量は変更できます。（ ☞ 44 ページ）
● カメラ側から話しかけるときは、カメラのマイクに向かって**約 50 cm 以内**で話してください。
● 周囲が騒がしくて通話しにくいときや声を変えて話したいとき（ ☞ 21 ページ）
● 着信中にドアホンや別のカメラから呼び出しがあると、あとから呼び出した機器の着信に切り替わります。
● モニター中や通話中に、ドアホンや別のカメラから呼び出されたら（ ☞ 29 ページ）

モニター中や通話中に別の呼び出しがあったとき



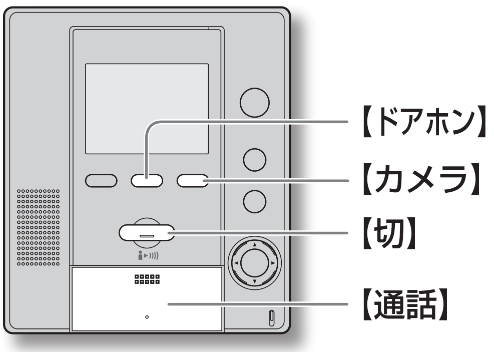


呼び出しに応答するとき

1 **点滅している【ドアホン】または【カメラ】を押す**

● 映像が切り替わり、周囲の音が聞こえる
（こちらの声は相手側には聞こえません）

■ **相手と話すには**
➡ 【通話】を押す



2 終わったら、
【切】を押す

● 別の呼び出しに応答したあと、最初にモニターまたは通話していたカメラに戻るには
➡ 27 ページの手順 1 から操作してください。

録画する

ドアホンやカメラ(別売)の映像を合計 100 枚まで、親機に録画(保存)できます。
カメラをご使用のときは、録画枚数をドアホン(30 枚)とカメラ(70 枚)に分けることもできます。
(☞ 43 ページ「録画枚数振分」)

自動録画

待ち受け中に着信があると、下記のタイミングで自動的に録画します。(留守の場合も録画するので、あとで確認できます)

ドアホンの場合

着信してから約 2 秒後の映像を 1 枚録画する

● 録画枚数は「4 枚」に変更できます。
(☞ 43 ページ「ドアホン録画数」)

カメラ(別売)の場合

人感センサー反応時に 1 枚、その後約 3 秒おきに 3 枚(計 4 枚)の映像を録画する

● 録画枚数は変えられません。

おしらせ

● **留守などで応答しなかったときは、未再生画像として録画されていることを下記のようにお知らせします。**

親機：【D】ボタンの点滅でお知らせ



点滅

子機：画面表示でお知らせ



待ち受け中に【切】ボタンを押すと表示

←(例)ドアホンの未再生画像

- 画像の再生操作(☞ 32 ページ)を行うと、親機の【D】ボタンが消灯します。
  (子機画面の未再生マークは、未再生画像をすべて再生すると消えます)
- 親機の【D】ボタンは、点滅させないようにしたり、ドアホンまたはカメラのどちらかの未再生画像があるときのみ点滅させるよう変更することもできます。(☞ 39 ページ「再生キー点滅」)

● 通話中やモニター中に着信があると、その着信に応答しないと録画されません。
応答すると下記のタイミングで録画します。
- ドアホンからの着信　：**【ドアホン】**ボタンを押してから表示される映像を 1 枚または 4 枚録画する
- カメラからの着信　　：**【カメラ】**ボタンを押してから表示される映像を 4 枚録画する
  (1 枚目は人感センサー反応時の映像です)

● 自動録画しないように変更できます。(☞ 42ページ「ドアホン自動録画」、☞ 41 ページ「センサー種別」)

● 録画中に別の機器から着信があると、4 枚録画できないことがあります。(最低 1 枚は録画されます)

画像の自動更新について

画像が 100 枚保存されているときに、新しい画像を保存すると、一番古い画像(未再生を含む)を自動で消去します。

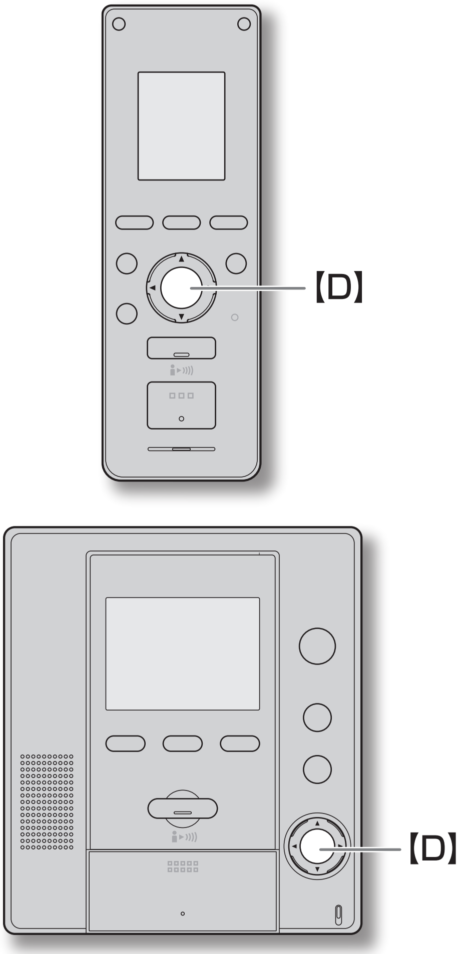
保存可能枚数(100 枚)



新しい画像　　古い順に消去

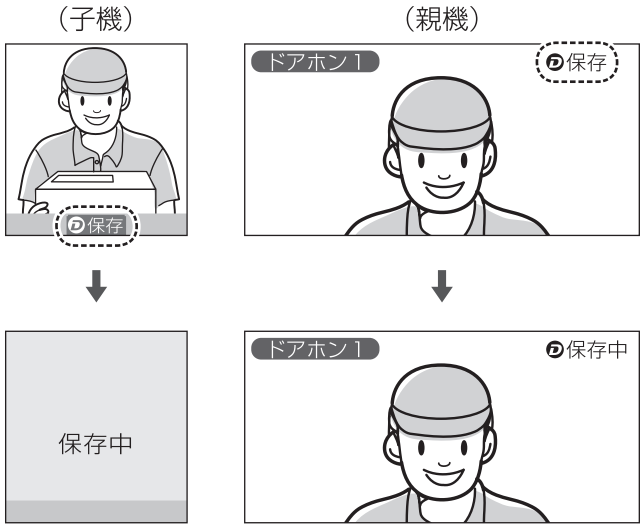
手動録画

着信中、通話中、モニター中の映像を、必要に応じて録画できます。（親機でも子機でも同じ操作でできます）



1 画面に「Ⓓ保存」と表示しているときに、

【D】を押す



おしらせ

●【D】を押してから録画されるまで時間差が生じます。このため、【D】を押したときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

おしらせ

●消去したくない画像は保護できます。（☞ 32 ページ）

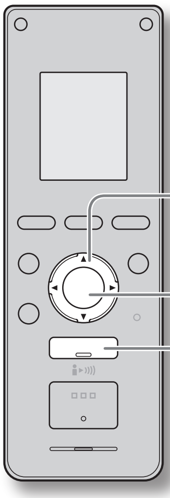
●**録画枚数振分を「する」に設定しているとき（☞ 43 ページ）**

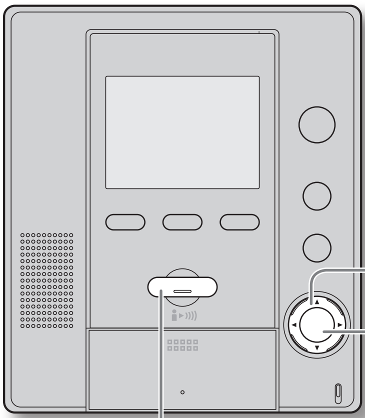
➡ ドアホン画像とカメラ画像は、それぞれの画像ごとに自動更新されます。

（例）ドアホン画像が 30 枚、カメラ画像が 70 枚のとき
新しくドアホン画像を保存すると・・・
↓
ドアホン画像の一番古いものを消去

再生する

録画した画像を確認できます。（親機でも子機でも同じ操作でできます）
親機の【D】ボタンが点滅しているときは、未再生画像があります。下記の再生操作をすると、消灯します。





1 待ち受け中に、

【D】を押し、【▼】【▲】で再生したい画像の項目を選ぶ

「ドアホン未再生」：応答しなかったときのドアホン画像
「ドアホン」：すべてのドアホン画像
「カメラ未再生」：応答しなかったときのカメラ画像
「カメラ」：すべてのカメラ画像

● 画像がない項目は、グレー表示で選べない

2

【D】を押し、画像を確認する

■ **別の画像に切り替えるには**
➡【▼】または【▲】を押す

- 【▼】を押すごとに、新しい順に表示する
- 押し続けると、早送り／早戻しになり、指を離すと画像を表示する

● 画面表示の見かた（☞ 33、34 ページ）
● 子機で画像表示中に【◀】または【▶】を押すと、画像が少し左右に移動する

3 終わったら、**【切】を押す**

● 未再生画像が残っている場合でも、親機の【D】が消灯する

画像を保護する

画像再生中に、消去したくない画像を最大 20 枚まで保護できます。

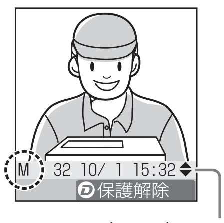
1 画面に「 保護設定（する）」と表示しているときに、

【D】を押す

●「M」を表示する
● **保護解除するには**
➡ 再度【D】を押す（「M」が消える）

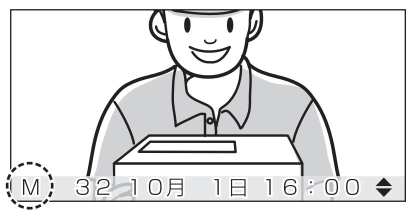
2 終わったら、**【切】を押す**

（子機）



色も変わる

（親機）



おしらせ
● 4 枚（1 セット）で録画された画像は、そのうちの 1 枚を保護設定すると 4 枚すべてが保護されます。ただし、保護した枚数は 1 枚分になります。

■ ドアホン画像の再生画面

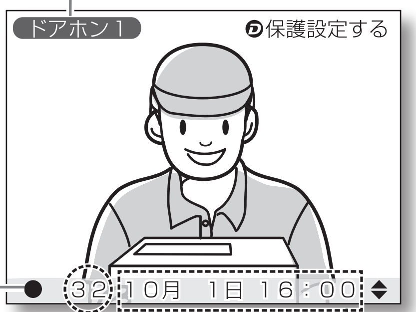
ドアホン録画数の設定（☞ 43 ページ）

	「1 枚」：お買い上げ時	「4 枚」

親機

「1 枚」：お買い上げ時

録画した機器（ドアホン 1・2）



録画番号（1 ～ 100）　**録画日時**

●：未再生画像
M：保護画像

「4 枚」

1 枚目※1
2 枚目※2
3 枚目※2
4 枚目※2

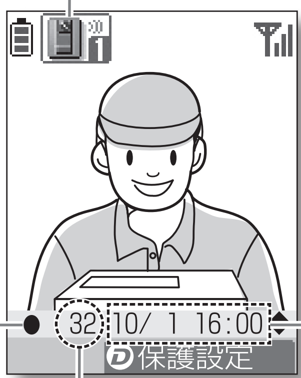


●**4 枚録画できなかったとき**
録画できた画像のみが表示され、それ以外は真っ黒になります。

子機

「1 枚」：お買い上げ時

録画した機器（ドアホン 1・2）



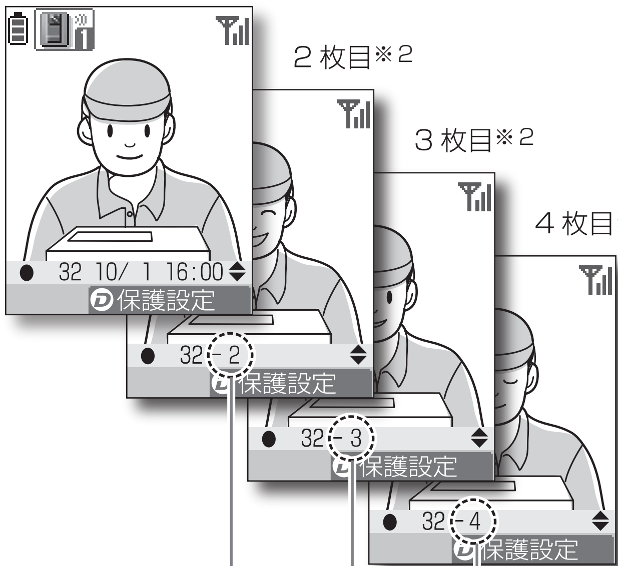
録画番号（1 ～ 100）　**録画日時**

●：未再生画像
M：保護画像

「4 枚」

4 枚で 1 セット

1 枚目※1
2 枚目※2
3 枚目※2
4 枚目※2



1 セットの中の何枚目かを表示

●**4 枚録画できなかったとき**
【▼】を押したときに「保存中断あり 次の画像です」と表示され、次の画像を表示します。

※1　1 枚目：着信して約 2 秒後の画像
※2　2 ～ 4 枚目：1 枚目を録画後、約 3 秒おきの画像

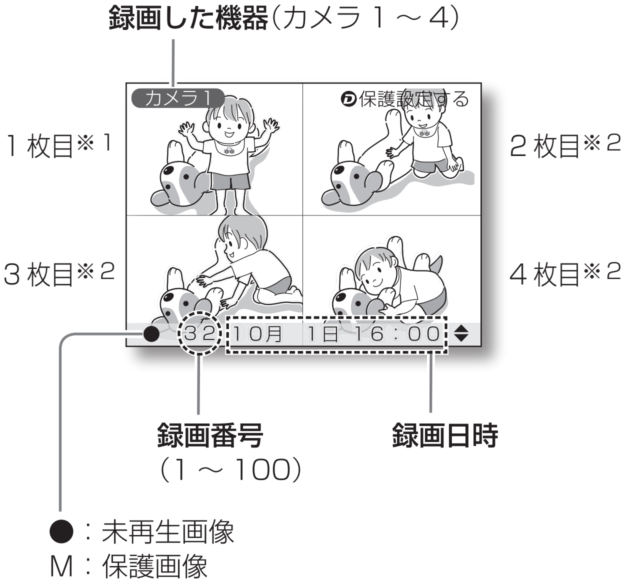
再生する

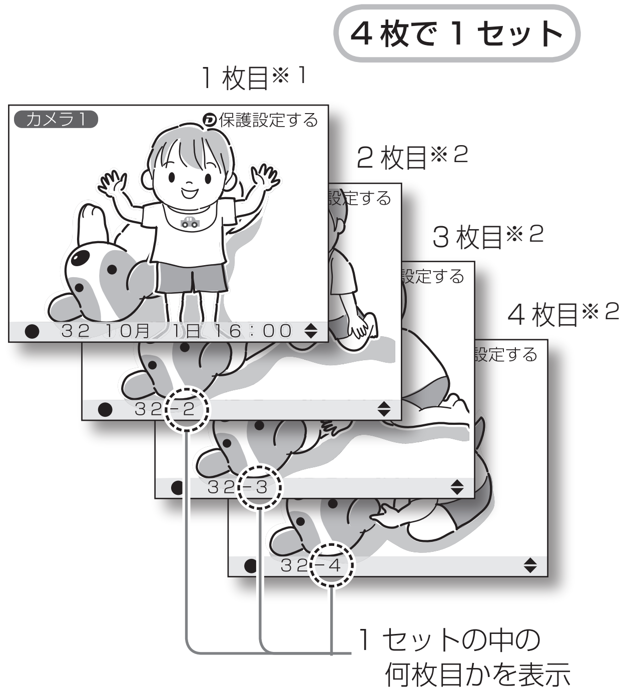
■ カメラ画像の再生画面

カメラ表示数の設定 (☞ 39 ページ)

「4 画面」：お買い上げ時	「1 画面」

親機

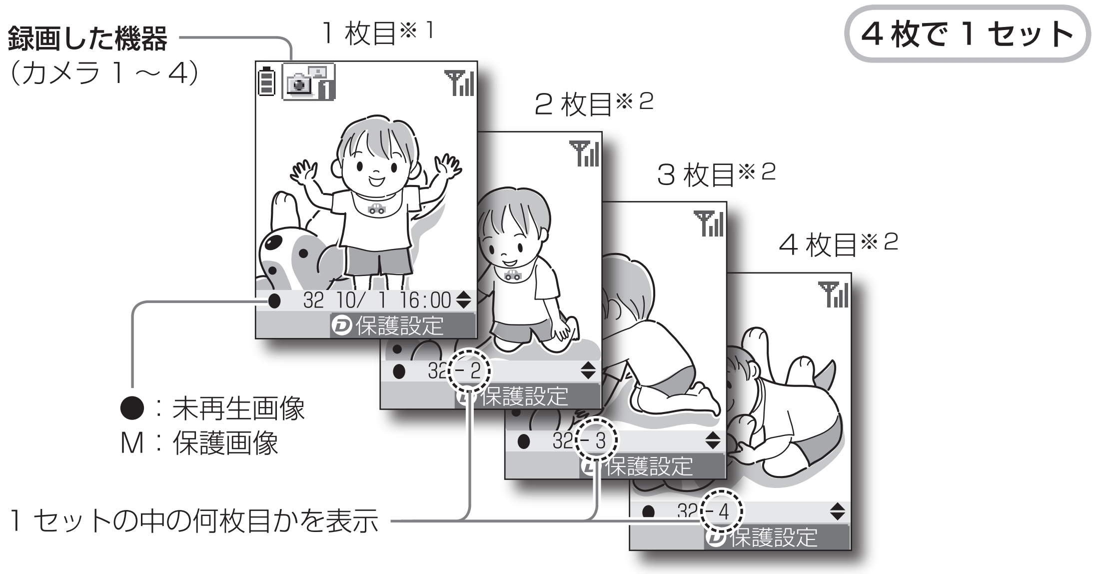




●**4 枚録画できなかったとき**
録画できた画像のみが表示され、それ以外は真っ黒になります。

●**4 枚録画できなかったとき**
【▼】を押したときに「保存中断あり 次の画像です」と表示され、次の画像を表示します。

子機



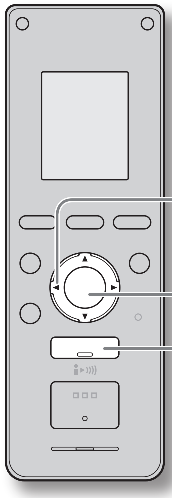
●**4 枚録画できなかったとき**
【▼】を押したときに「保存中断あり 次の画像です」と表示され、次の画像を表示します。

※1 1 枚目：センサー反応直後の画像

※2 2 ～ 4 枚目：1 枚目を録画後、約 3 秒おきの画像

消去する

不要な画像を選んで消すことができます。(親機でも子機でも同じ操作でできます)



1 画像再生中に、【D】を 2 秒以上押す

● 再生のしかた(☞ 32 ページ)

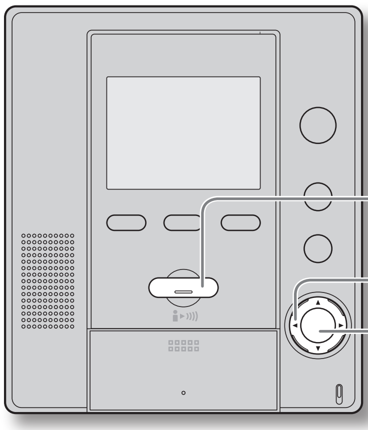
(1 枚画像のとき)

消去しますか
◀はい ▶いいえ

(4 枚画像のとき)

連続画像あり
消去しますか
◀はい ▶いいえ

4 枚のうち、どれか 1 枚を消去すれば、4 枚とも消える。



2 【◀】を押す

● 画像を消去し、次の画像を表示する

3 終わったら、【切】を押す

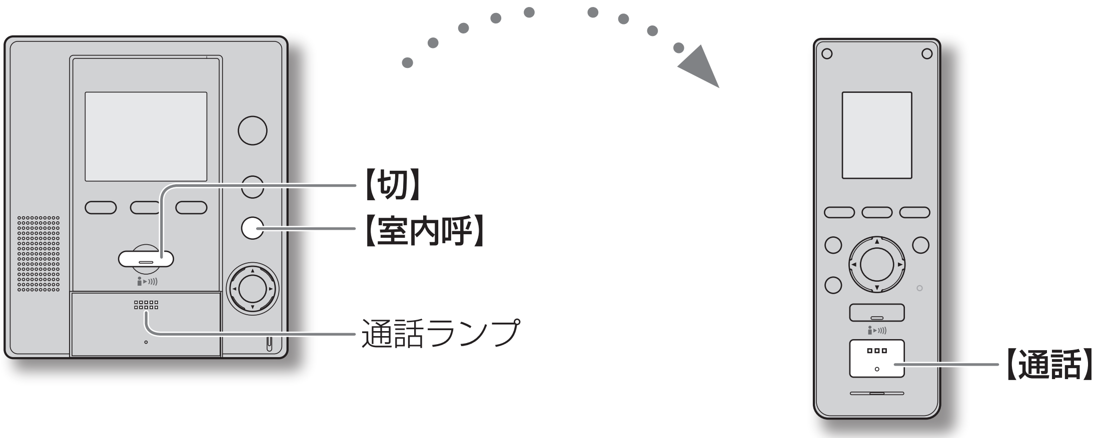
おしらせ

- 画像はすべて親機に録画(保存)されているため、子機で消去した画像も、親機から消去されます。
- 保護画像を消去しようとすると、「保護画像です　保護を解除してください」と表示します。先に保護を解除してください。(☞ 32 ページ)
- すべての画像(未再生画像や保護画像を含む)を一度に消去することもできます。(☞ 43 ページ「画像全消去」)

室内の相手と話す（室内通話）

親機と子機で通話ができます。（相手の映像は映りません）

親機から呼び出す



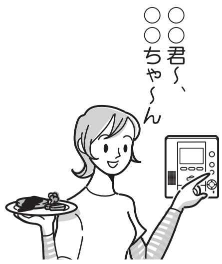
呼び出す側（親機） → **受ける側（子機）**

1

待ち受け中に、

【室内呼】を押し、呼びかける

●通話ランプが点灯



呼びかけが聞こえたら、

【通話】を押す



2

相手が出たら、

話す



相手と話す



3

終わったら、**【切】を押す**

●相手側も切れる

おしらせ

●通話は約 90 秒で自動的に終了します。
●別売の子機を増設しているときは、手順 1 で一斉に呼びかけが聞こえます。

室内通話中にドアホンやカメラ（別売）から呼び出されたとき

①【切】を押して室内通話を終了する
②呼び出しに応答する（ドアホンの場合 ☞ 20 ページ、カメラの場合 ☞ 28 ページ）

別売の子機を増設すると親機からの個別呼び出しができます

あらかじめ設定が必要です。（ ☞ 39 ページ「室内呼出」）

①【室内呼】を押し、【▼】【▲】で呼び出す相手を選ぶ
②【D】を押し、呼びかける
　➡ 指定した相手にだけ呼びかけが聞こえる
③相手が出たら、話す

（例：親機から子機 1 を呼び出すとき）

＊＊室内呼＊＊
一斉
子機 1
子機2
子機3
子機4

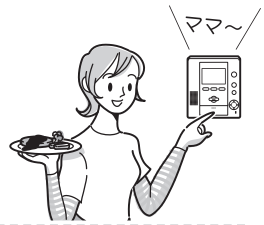
子機から呼び出す

●別売の子機を増設しているときは、同じ操作で別の子機も呼び出せます。

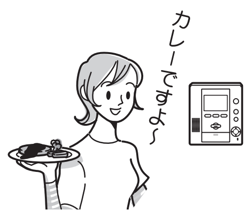


呼び出す側（子機）	➡	受ける側（親機 または 別の子機）
1 待ち受け中に、**【室内呼】を押し、呼びかける** ●通話ランプが点灯		呼びかけが聞こえたら、**【通話】を押す**
2 相手が出たら、**話す**		**相手と話す**









3 終わったら、**【切】を押す**

●相手側も切れる

おしらせ

●通話は約 90 秒で自動的に終了します。
●別売の子機を増設しているときは、手順 1 で一斉に呼びかけが聞こえます。

室内通話中にドアホンやカメラ（別売）から呼び出されたとき

①【切】を押して室内通話を終了する
②呼び出しに応答する（ドアホンの場合 ☞ 20 ページ、カメラの場合 ☞ 28 ページ）

別売の子機を増設すると子機からの個別呼び出しができます

あらかじめ設定が必要です。（☞ 40 ページ「室内呼出」）

①【室内呼】を押し、【▼】【▲】で呼び出す相手を選ぶ
②【D】を押し、呼びかける
　➡ 指定した相手にだけ呼びかけが聞こえる
③相手が出たら、話す

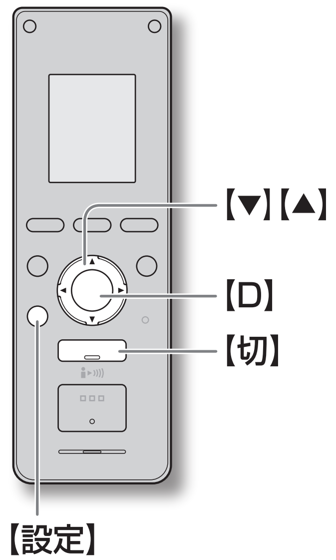
（例：子機 1 から親機を呼び出すとき）

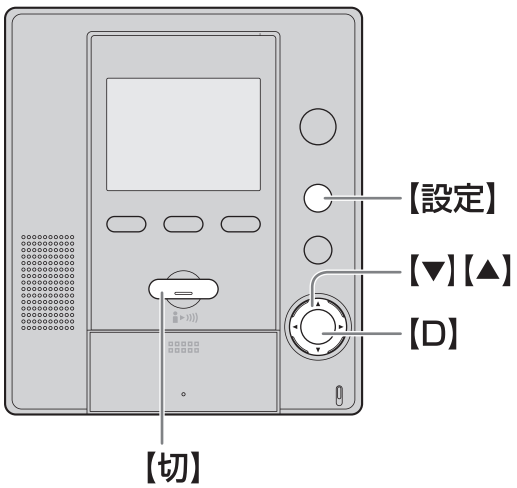
室内呼
一斉
親機
子機2
子機3
子機4

機能設定を変える（機能設定一覧表）

設定のしかた

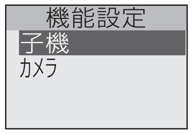
使いかたに合わせて、「親機」「子機」「カメラ」「その他」の機能（☞ 39 ～ 43 ページ）を変更・設定できます。
「親機」「その他」の設定は親機で、「子機」の設定は子機で行います。
「カメラ」の設定は、親機でも子機でもできます。
● 設定中に着信があったときや、約 90 秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。



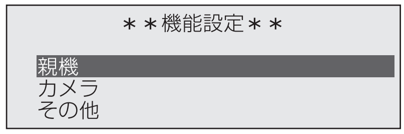


1
待ち受け中に、
【設定】を約３秒間押す

（子機）



（親機）



2
【▼】【▲】で設定を変えたい項目（ 子機 / カメラ / 親機 / その他 ）を選び、【D】を押す

■ カメラ を選んだとき
➡ 続けて【▼】【▲】で設定を変えたいカメラ番号を選び、【D】を押す

3
【▼】【▲】で変更したい機能を選び、【D】を押す

4
【▼】【▲】で設定内容を選び、【D】を押す

● 変更する機能によっては、画面の表示に従ってこの操作を繰り返す

5
設定が終わったら、
【切】を押す

親機の機能

38 ページの手順 2 で「親機」を選んだときに設定できる機能です。

[　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
音声応答	ドアホンや子機からの呼び出しに、**【通話】**ボタンを押さずに「はーい」などの音声で応答する（カメラからの呼び出しには応答できません） ON、[OFF] ●音声応答のしかた（☞ 22 ページ） ●「ON」を選んでも、**【通話】**ボタンを押して応答することができる
室内呼出	室内呼び出しで、すべての子機を呼び出すときは「一斉」、 個別呼び出しもできるようにするときは「一斉 / 個別」を選ぶ [一斉]、一斉 / 個別
ボイスチェンジ	ボイスチェンジの声の高さを選ぶ [通常]、低め
録画日時表示	画像再生時に表示される、録画日時の表示時間を選ぶ [常時]、3秒表示
再生キー点滅（【D】ボタン点滅）	ドアホンやカメラの未再生画像があるとき、親機の**【D】**ボタンを点滅させる OFF（点滅しない）、ドアホン、カメラ、[ドアホン / カメラ] ●「ドアホン」：ドアホンの未再生画像があるときのみ点滅する 「カメラ」：カメラの未再生画像があるときのみ点滅する 「ドアホン / カメラ」：どちらかの未再生画像があるときに点滅する
カメラ表示数	カメラの映像や再生画像を「1 画面」で表示するか、「4 画面（4 分割）」で表示するかを選ぶ 1 画面、[4 画面]

（次ページにつづく）

機能設定を変える（機能設定一覧表）

子機の機能

38 ページの手順 2 で「子機」を選んだときに設定できる機能です。

[　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
音声応答	ドアホンや親機からの呼び出しに、【通話】ボタンを押さずに「はーい」などの音声で応答する（カメラからの呼び出しには応答できません） ON、[OFF] ● 音声応答のしかた（ ☞ 22 ページ） ●「ON」を選んでも、【通話】ボタンを押して応答することができる
室内呼出	室内呼び出しで、親機やすべての子機を呼び出すときは「一斉」、個別呼び出しもできるようにするときは「一斉 / 個別」を選ぶ [一斉]、一斉 / 個別
ボイスチェンジ	ボイスチェンジの声の高さを選ぶ [通常]、低め
録画日時表示	画像再生時に表示される、録画日時の表示時間を選ぶ [常時]、３秒表示
コントラスト	子機のモニター画面の表示が見えにくいとき、コントラスト（表示濃度）を 5 段階で調整する （濃い） お買い上げ時の設定 →（5段階の中央） （薄い）
設定の初期化	子機の設定を、お買い上げ時の状態に戻す はい、いいえ

カメラ（別売）の機能

38 ページの手順 2 で「カメラ」を選んだときに設定できる機能です。各機能は、カメラ 1 ～ 4 に対して個別に設定できます。

[　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
カメラ出力音	センサーが反応したときに、カメラから出る音の種類を選ぶ [音 A]、音 B、音 C、音 D ● 音の種類を選ぶとき、選んだ音を確認するには【▶】ボタンを押す
カメラ出力音量	センサーが反応したときに、カメラから出る音の大きさを選ぶ 大、[中]、小、切

カメラ(別売)の機能（つづき）

機　能	機能の概要と設定内容
センサー種別	センサー反応の種別(人感 / 外部入力 /OFF)と次のセンサー反応までの時間(60 秒 /20 秒 / 常時)、センサー反応時の自動録画の有無(ON/OFF)を選ぶ 人感 /60 秒 自動録画 ON、人感 /60 秒 自動録画 OFF、 人感 /20 秒 自動録画 ON、人感 /20 秒 自動録画 OFF、 外部入力 /60 秒 自動録画 ON、外部入力 /60 秒 自動録画 OFF、 外部入力 /20 秒 自動録画 ON、外部入力 /20 秒 自動録画 OFF、 外部入力 / 常時 自動録画 OFF、OFF（センサー反応しない） ●カメラにコールボタンなどを接続して使うときは、「外部入力」を選ぶ
人感センサー感度	人感センサーの感度を選ぶ （人感センサーについては、カメラに添付の説明書をお読みください） 標準、低 ● 正面方向の検知距離は、「標準」で約 5 m、「低」で約 2 mになる ● センサーが反応しすぎるときは「低」を選ぶ
カメラマイク感度	モニター中や通話中に、親機または子機から聞こえるカメラ側の音の大きさを選ぶ 大、中、小、切 ●「切」を選ぶとカメラからの音は聞こえない
カメラ受話音量	親機または子機との通話時に、カメラから出る音声の大きさを選ぶ 大、中、小
ランプ表示	カメラのランプを常に点灯させるときは「常時」、モニターや通話時のみ点灯させるときは「通信時」、消灯させておくときは「消灯」を選ぶ 常時、通信時、消灯
ズーム	カメラからの映像を拡大するかしないかを選ぶ 標準、拡大(約 1.6 倍)
露出補正	被写体と背景の明るさに大きく差があり、適正な補正が得られないときに調整する (映像が暗くなる)－ 3、－ 2、－ 1、0(標準)、＋ 1、＋ 2、＋ 3 (映像が明るくなる)
上下反転表示	カメラからの映像を、上下反転するか、しないかを選ぶ する、しない
設定の初期化	カメラの設定を、お買い上げ時の状態に戻す はい、いいえ

（次ページにつづく）

機能設定を変える（機能設定一覧表）

その他の機能

38ページの手順2で「その他」を選んだときに設定できる機能です。

［　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能	機能の概要と設定内容
日時	現在の日付・時刻を設定する（☞ 19ページ）
呼出音	親機や子機で鳴る呼出音の種類を選ぶ（☞ 44ページ） ドアホン1　：［音1］、音2、音3 ドアホン2　：音1、［音2］、音3 カメラ1～4：［音A］、音B、音C、音D（増設したカメラごとに設定できる） ●音の種類を選ぶとき、選んだ音を確認するには【▶】ボタンを押す
鳴り分け	親機や子機ごとに、ドアホンやカメラ（別売）からの着信をさせないように指定する（☞ 45ページ） ドアホン1　：［ON］、OFF ドアホン2　：［ON］、OFF カメラ1～4：［ON］、OFF（増設したカメラごとに設定できる） ●着信させたくないドアホンやカメラは「OFF」を選ぶ
A接点	親機のA接点端子に接続した機器（回転灯や光るチャイムなど）の動作を、ドアホンやカメラ（別売）からの呼び出しに連動させるかを選ぶ（☞ 47ページ） ドアホン1　：［ON］、OFF ドアホン2　：［ON］、OFF カメラ1～4：［ON］、OFF（増設したカメラごとに設定できる） ●連動させたくないドアホンやカメラは「OFF」を選ぶ
拡張機器	別売のインターホンを接続したときは「インターホン」、ドアホンアダプターを接続したときは「ドアホンアダプター」を選ぶ（☞ 49ページ） ［インターホン］、ドアホンアダプター
ドアホン接続	ドアホンの接続を設定する ドアホン1：［あり］、なし ドアホン2：［あり］、なし ●使わないドアホンは「なし」を選ぶ
Fボタン	【F】ボタンに登録する機能を選ぶ（☞ 46ページ） ［なし］、電気錠、機器、文字表示
ドアホン自動録画	ドアホンからの呼び出し時に、映像を自動録画する ドアホン1：［ON］、OFF ドアホン2：［ON］、OFF

その他の機能（つづき）

機　能	機能の概要と設定内容
録画枚数振分	録画可能な枚数（最大 100 枚）を、ドアホンとカメラ（別売）で分けることができる する、しない ●「する」を選ぶと、ドアホン画像は最大 30 枚、カメラ（別売）画像は最大 70 枚になる
ドアホン録画数	ドアホンの録画枚数を選ぶ（ドアホン 1 と 2 の個別設定はできません） 1 枚、4 枚 ●「4 枚」を選ぶと、自動録画または手動録画時に 4 枚の映像を録画する
録画開始時間	ドアホンからの呼び出し時に、自動録画を開始するタイミングを選ぶ （ドアホン 1 と 2 の個別設定はできません） 標準（約 2 秒）、遅い（約 3 秒） ●夜間など、映像が映りにくいときは「遅い」を選ぶ
中継アンテナ	増設した中継アンテナ（最大2台）で、どの機器を中継するかを選ぶ 子機 1、子機 2、子機 3、子機 4、カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4 ●親機に登録していない機器はグレー表示となり選べない
画像全消去	録画した画像をすべて消去する はい、いいえ ●保護設定している画像も消去する
設定の初期化	「親機」と「その他」の機能設定の内容を、お買い上げ時の設定に戻す はい、いいえ ●録画画像は消去されない ●画像の保護設定は解除されない ●「中継アンテナ」の設定は初期化されない

呼出音を変える

ドアホンやカメラ（別売）からの呼出音を変更できます。（室内通話時の呼出音は変えられません）
設定は親機でのみできます。

1 待ち受け中に、**【設定】を約 3 秒間押す**

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 **【▼】【▲】で その他 を選ぶ**

3 **【D】を押し、【▼】【▲】で 呼出音 を選ぶ**

＊＊機能設定／その他＊＊
1／2
日時
呼出音
鳴り分け
A接点

4 **【D】を押し、【▼】【▲】で呼出音を変えたい機器を選ぶ**

＊＊呼出音＊＊
ドアホン1
ドアホン2
カメラ1
カメラ2

5 **【D】を押し、【▼】【▲】で音を選ぶ**
● 【▶】を押すと、音が聞ける

＊＊呼出音／ドアホン1＊＊
●音1
音2
音3

6 **【D】を押す**

設定した音に●が移動

＊＊呼出音／ドアホン1＊＊
音1
●音2
音3

↓
（手順 4 の画面を表示）

7 終わったら、**【切】を押す**

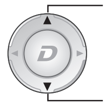
音量を変える

呼出音量

親機や子機でそれぞれ、ドアホンやカメラ（別売）からの呼出音量を変更できます。（3 段階、および呼出音「切」）

ドアホンからの呼出音量を変えるとき

待ち受け中に、【▼】【▲】を押す


押すごとに**大きくなる**
押すごとに**小さくなる**※

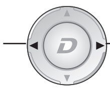
※「ピピッ ピピッ」と鳴るまで押し続けると、**呼出音「切」になる**

（子機）
呼出音量
ドアホン
切
カメラ

（親機）
ドアホン　▼▲
カメラ　◀▶　切

カメラからの呼出音量を変えるとき

待ち受け中に、【◀】【▶】を押す

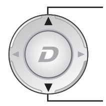
押すごとに**小さくなる**※

押すごとに**大きくなる**

※「ピピッ ピピッ」と鳴るまで押し続けると、**呼出音「切」になる**

受話音量

親機や子機でそれぞれ、通話中の音量を変更できます。（3 段階）

通話中またはモニター中に、【▼】【▲】を押す


押すごとに大きくなる
押すごとに小さくなる

おしらせ
● 室内呼出や通話を転送するときの呼出音は、受話音量で設定した大きさで鳴ります。

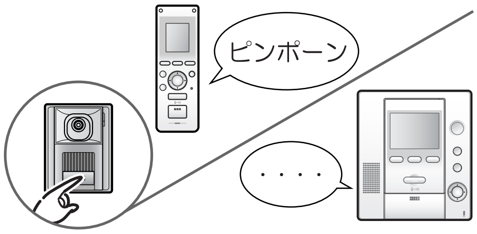
■ 呼出音の種類

お買い上げ時の設定：ドアホン 1「音 1」、ドアホン 2「音 2」、カメラ 1 ～ 4「音 A」

ドアホンの呼出音		カメラの呼出音	
音 1	ピーンポーン	音 A	ピポッ
音 2	プルルルルル…	音 B	ポポポポポポ…
音 3	ピンポーンピンポーン	音 C	ポーンポーン
―	―	音 D	ピーンポーン

着信させるドアホンやカメラを指定する(鳴り分け)

下記の設定で、親機や子機ごとに、着信させたくないドアホンやカメラを「OFF」にしてください。
設定は親機でのみできます。
●お買い上げ時の設定：すべて「ON」
●「OFF」にしたドアホンやカメラからは着信しなくなります。



1 待ち受け中に、**【設定】**を約３秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 **【▼】【▲】で その他 を選ぶ**

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

3 **【D】を押し、【▼】【▲】で 鳴り分け を選ぶ**

＊＊機能設定／その他＊＊
１／２
日時
呼出音
鳴り分け
Ａ接点
拡張機器
ドアホン接続

4 **【D】を押し、【▼】【▲】で親機または子機を選ぶ**

＊＊鳴り分け＊＊
親機
子機１
子機２
子機３
子機４

5 **【D】を押し、【▼】【▲】で設定する機器を選ぶ**

＊＊鳴り分け／子機１＊＊
ドアホン１
ドアホン２
カメラ１
カメラ２
カメラ３
カメラ４

6 **【D】を押し、【▼】【▲】で ON または OFF を選ぶ**

＊＊鳴り分け／子機１／ドアホン１＊＊
●ＯＮ
ＯＦＦ

7 **【D】を押す**

＊＊鳴り分け／子機１／ドアホン１＊＊
ＯＮ
●ＯＦＦ

設定した項目に●が移動

↓
（手順５の画面を表示）

8 終わったら、**【切】**を押す

おしらせ
●通話中またはモニター中の着信には、鳴り分け設定がはたらきません。
（上記の設定を「OFF」にしたドアホンやカメラからも着信します）
●**「親機」の設定で、ドアホンの鳴り分けを「OFF」にしたとき**
➔増設したインターホンや、ドアホンアダプターで接続した電話機（ファクス）も、ドアホンから着信しなくなります。

【F】ボタンに機能を登録して使う

機能を登録する

下記の中から使いたい機能をひとつ選んで登録してください。**設定は親機でのみできます。**

●「電気錠」や「機器」は、親機に別売の機器を接続したときに利用できます。（☞ 49 ページ）

機　能	登録後にできること
なし	何も動作しません（お買い上げ時の設定）
電気錠	電気錠の施錠 / 解錠
機器	エアコンなどの機器の ON/OFF
文字表示	画像に重なって表示される文字の表示 / 非表示

1 待ち受け中に、**【設定】**を約 3 秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 **【▼】【▲】で その他 を選ぶ**

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

3 **【D】を押し、【▼】【▲】で F ボタン を選ぶ**

日時
呼出音
鳴り分け
A 接点
拡張機器
ドアホン接続
F ボタン
ドアホン自動録画

4 **【D】を押し、【▼】【▲】で登録する機能を選ぶ**

＊＊F ボタン＊＊
●なし
電気錠
機器
文字表示

5 **【D】を押す**

＊＊F ボタン＊＊
なし
電気錠
機器
●文字表示

設定した項目に●が移動

↓
（手順 3 の画面を表示）

6 終わったら、**【切】を押す**

【F】ボタンを使う

操作は親機でも子機でもできます。

「電気錠」や「機器」を登録した場合

子機で操作するとき

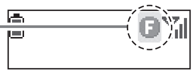
【F】を押し、【◀】【▶】で ◀はい または ▶いいえ を選ぶ

（例：電気錠の場合）



電気錠を施錠、または機器が ON の状態のとき

・F を表示



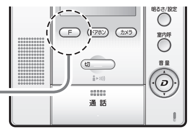
親機で操作するとき

【F】を押す

●押すごとに施錠・解錠（ON・OFF）する

電気錠を施錠、または機器が ON の状態のとき

・【F】ボタンが点灯



「文字表示」を登録した場合

映像（画像）表示中に、【F】を押す

●押すごとに画面の文字が表示／非表示する
●子機では、再生画面でのみはたらきます

〈子機の場合〉



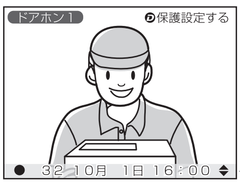
（表示）

【F】を押す



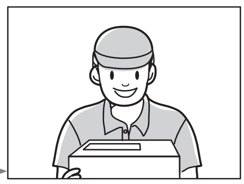
（非表示）

〈親機の場合〉



（表示）

【F】を押す



（非表示）

メロディや光で着信を知る（A 接点）

親機の A 接点端子にメロディサインや回転灯、光るチャイムなどを接続すると（☞ 49 ページ）、ドアホンやカメラ（別売）の着信に連動してはたらきます。
連動させたいドアホンやカメラは指定できます。
設定は親機でのみできます。

- お買い上げ時の設定：すべて「ON」
- 「OFF」にしたドアホンやカメラからの着信時には、メロディサインなどがはたらかなくなります。

1 待ち受け中に、**【設定】**を約 3 秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 【▼】【▲】で その他 を選ぶ

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

3 【D】を押し、【▼】【▲】で A 接点 を選ぶ

＊＊機能設定／その他＊＊
1／2
日時
呼出音
鳴り分け
A 接点
拡張機器
ドアホン接続

4 【D】を押し、【▼】【▲】で設定する機器を選ぶ

＊＊A 接点＊＊
ドアホン 1
ドアホン 2
カメラ 1
カメラ 2
カメラ 3
カメラ 4

5 【D】を押し、【▼】【▲】で ON または OFF を選ぶ

＊＊A 接点 ／ドアホン 1＊＊
●ON
OFF

6 【D】を押す

＊＊A 接点 ／ドアホン 1＊＊
ON
●OFF

設定した項目に●が移動

（手順 4 の画面を表示）

7 終わったら、**【切】**を押す

別売の機器を増設して便利に使う

下記のような別売の機器を増設することができます。（ ☞ 裏表紙）
設置や使いかたについては、それぞれの機器に添付の説明書をご覧ください。
また、本機側の配線については別添付の工事説明書を参照してください。

■ システム構成図（2005 年 10 月現在）

親機への登録が必要な機器

子機を増やす

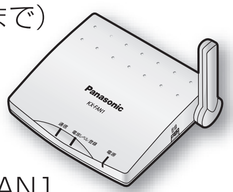
子機（あと 3 台まで）
（ ☞ 50 ページ）



VL-W600

電波の届く範囲を拡大する

中継アンテナ（2 台まで）
（ ☞ 52 ページ）



KX-FAN1

離れた部屋の様子を見る

カメラ（4 台まで）
（ ☞ 51 ページ）



VL-W800

本 機

子機



ドアホン



親機



A 接点

工事が必要な機器

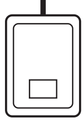
カメラ側から親機や子機を呼び出す

下記のコールボタンを接続すると、コールボタンを押すことで、
カメラ側から親機や子機を呼び出すことができます。

コールボタン（推奨品）

松下電工（株）製	品番：WS65311、WS65611、WS65771
神保電器（株）製	品番：HB-60-P、HB-50-P

●「センサー種別」の設定変更が必要です。（ ☞ 41 ページ）
●コールボタンをご使用になる場合は、人感センサーがはたらきません。



コール
ボタン

工事が必要な機器

ドアホンを増やす

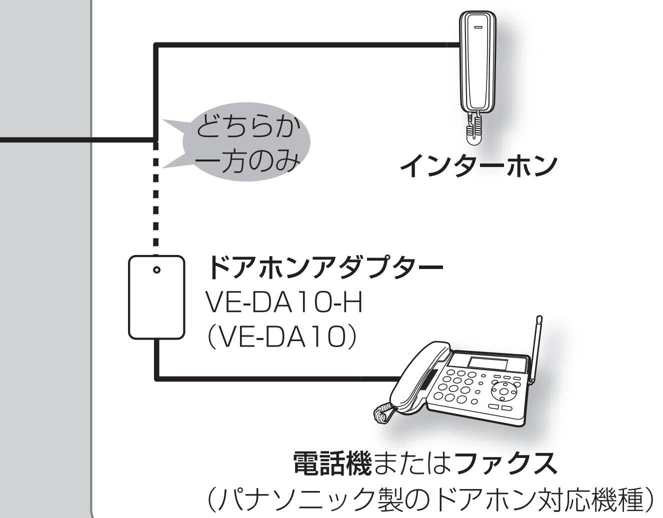
ドアホン(あと 1 台)

(☞ 裏表紙)



VL-V564-K(露出型)または VL-V551-K(埋込型)

インターホンや電話機(ファクス)でドアホンからの呼び出しに応答する



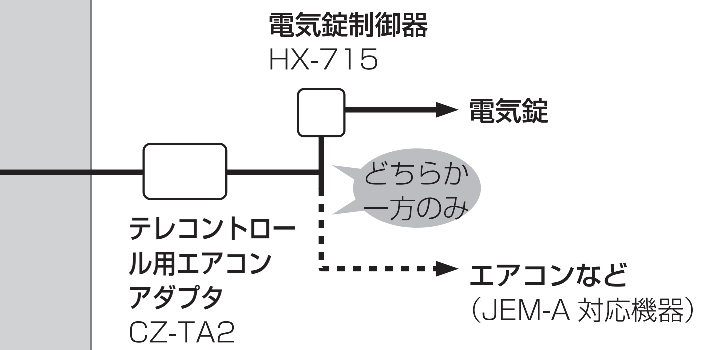
- ドアホンアダプターを接続したときは、設定変更が必要です。
  (☞ 42 ページ「拡張機器」)
- カメラからの呼び出しには反応しません。
- 親機または子機との室内通話はできません。
- **親機または子機で呼び出しに応答しているとき…**
  ➡ インターホンや電話機では、着信動作を約 30 秒間継続しますが応答できません。
- **ドアホンを 2 台接続しているとき…**
  ➡ 電話機(ファクス)からドアホンを呼び出したときには、直前に着信または通話したドアホンを呼び出します。

ドアホンやカメラからの呼び出し時にチャイムを鳴らしたり回転灯を点灯させる

下記のいずれかひとつが増設できます。

製 品 名(推奨品)	品　番
メロディサイン:松下電工 (株) 製	EC5237BP、EC5227W (P)、EC5237HP、EC5117WKP、EC5347、EC5237WP
回転灯:(株) パトライト製	KJS-110、KJSB-110、KES-110
光るチャイム:松下電工 (株) 製	EC170 (P)

電気錠やエアコンなどの機器を操作する



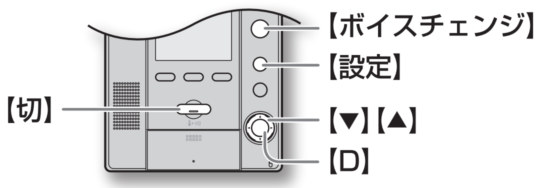
【F】ボタンを使って下記の操作ができるようになります。ただし、本機での設定が必要です。(☞ 46 ページ)

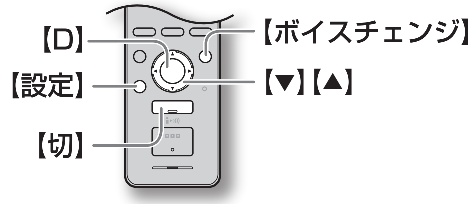
- 電気錠制御器に接続した電気錠の施錠 / 解錠
- エアコン、シャッターなど JEM-A 対応機器※の ON/OFF

※(社)日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。
この規格は、家庭内機器(エアコンなど)の動作/停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。

子機を増やす（増設・減設）

別売の子機（☞ 裏表紙）を、あと３台増やせます。
親機への登録（増設）が必要です。登録の前に、子機を約５分間充電しておいてください。





親機に登録する（増設）

子機を親機に近づけ、親機の操作に続けて、
約２分以内に増設する子機を操作してください。

親機の操作

1 待ち受け中に、**【設定】**を約３秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 **【ボイスチェンジ】**を３回押し、**【▼】【▲】**で 登録 を選ぶ

＊＊登録／減設＊＊
登録
減設

3 **【D】**を押し、**【▼】【▲】**で 子機／カメラ を選ぶ

＊＊登録＊＊
子機／カメラ
中継アンテナ

4 **【D】**を押す

増設する子機の操作

5 **【設定】**を約３秒間押す

機能設定
子機
カメラ

6 **【ボイスチェンジ】**を３回押し、**【▼】【▲】**で 登録 を選ぶ

登録/減設
登録
減設

7 **【D】**を押し、**【▼】【▲】**で 子機 を選ぶ

登録
子機
中継アンテナ

8 **【D】**を押す

子機登録
登録完了

9 終わったら、**親機の【切】**を押す

登録を解除する（減設）

子機の使用をやめるときに行ってください。
親機でも子機でも同じ操作でできます。

1 待ち受け中に、**【設定】**を約３秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 **【ボイスチェンジ】**を３回押し、**【▼】【▲】**で 減設 を選ぶ

＊＊登録／減設＊＊
登録
減設

3 **【D】**を押し、**【▼】【▲】**で 子機減設 を選ぶ

＊＊減設＊＊
子機減設
カメラ減設
中継アンテナ減設

4 **【D】**を押し、**【▼】【▲】**で減設する子機を選ぶ

＊＊子機減設＊＊
子機１
子機２
子機３
子機４

5 **【D】**を押す

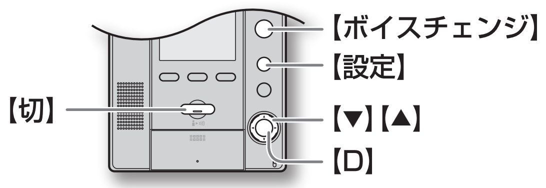
子機２
減設完了

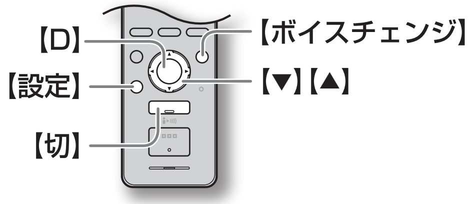
6 終わったら、**【切】**を押す

おねがい
● 減設した子機の電池パックは、取り出してください。（誤動作の原因になります）

カメラを増やす（増設・減設）

別売のワイヤレスカメラ（☞ 裏表紙）を、4 台まで増やせます。
下記の操作で親機に登録（増設）したあと、ワイヤレスカメラに添付の説明書に従って設置してください。





親機に登録する（増設）

カメラを親機に近づけ、親機の操作に続けて、
約 2 分以内に増設するカメラを操作してください。

親機の操作

1 待ち受け中に、**【設定】**を約 3 秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 **【ボイスチェンジ】**を 3 回押し、
【▼】【▲】で **登録** を選ぶ

＊＊登録／減設＊＊
登録
減設

3 **【D】**を押し、**【▼】【▲】**で **子機／カメラ** を選ぶ

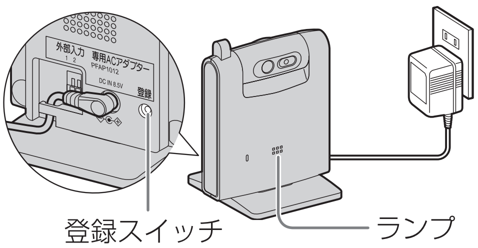
＊＊登録＊＊
子機／カメラ
中継アンテナ

4 **【D】**を押す

増設するカメラの操作

5 **電源を入れた状態で、先端の細いものを使って、登録スイッチを約 3 秒間押す**

- カメラのランプが緑点滅する
- 登録が完了すると「ピー」と鳴り、ランプが点灯に変わる



6 終わったら、**親機の【切】**を押す

登録を解除する（減設）

カメラの使用をやめるときに行ってください。
親機でも子機でも同じ操作でできます。

1 待ち受け中に、**【設定】**を約 3 秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 **【ボイスチェンジ】**を 3 回押し、
【▼】【▲】で **減設** を選ぶ

＊＊登録／減設＊＊
登録
減設

3 **【D】**を押し、**【▼】【▲】**で **カメラ減設** を選ぶ

＊＊減設＊＊
子機減設
カメラ減設
中継アンテナ減設

4 **【D】**を押し、**【▼】【▲】**で減設するカメラを選ぶ

＊＊カメラ減設＊＊
カメラ１
カメラ２
カメラ３
カメラ４

5 **【D】**を押す

カメラ２
減設完了

6 終わったら、**【切】**を押す

おねがい
- 減設したカメラの電源は、切ってください。（誤動作の原因になります）

カメラを増やす（増設・減設）
子機を増やす（増設・減設）
もっと便利に

中継アンテナを設置する（増設・減設）

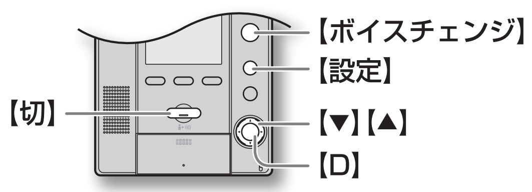
別売の中継アンテナ（☞ 裏表紙）を2台まで設置できます。

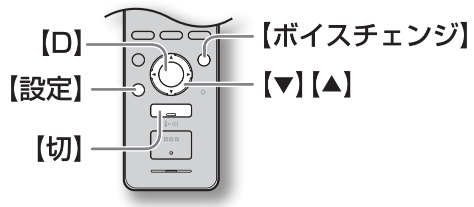
- **中継アンテナ1台で、子機（またはカメラ）を1台中継できます。**
- **親機と離れた部屋で子機やカメラを使うときなど、親機と子機（またはカメラ）の間に設置すると…**
  電波の届く範囲が広がり、電波が弱くなったときに発生する通話中のプツプツ音、声のとぎれ、映像の乱れなどの症状を改善できることがあります。

下記の操作で親機に登録（増設）したあと、中継アンテナに添付の説明書に従って設置してください。

親機に登録する（増設）

中継アンテナを親機に近づけ、親機または子機の操作に続けて、約2分以内に中継アンテナを操作してください。





親機または子機の操作

1 待ち受け中に、**【設定】**を約3秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 **【ボイスチェンジ】**を3回押し、【▼】【▲】で 登録 を選ぶ

＊＊登録／減設＊＊
登録
減設

3 【D】を押し、【▼】【▲】で 中継アンテナ を選ぶ

＊＊登録＊＊
子機／カメラ
中継アンテナ

4 【D】を押し、【▼】【▲】で登録する中継アンテナを選ぶ

＊＊中継アンテナ登録＊＊
中継アンテナ1
中継アンテナ2

5 【D】を押し、【▼】【▲】で中継する機器を選ぶ

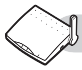
＊＊中継アンテナ1登録＊＊
子機1を中継
子機2を中継
子機3を中継
子機4を中継
カメラ1を中継
カメラ2を中継
カメラ3を中継
カメラ4を中継

- 中継する機器は、あとで変更することもできる（☞ 43ページ「中継アンテナ」）

6 【D】を押す

＊＊中継アンテナ1登録＊＊

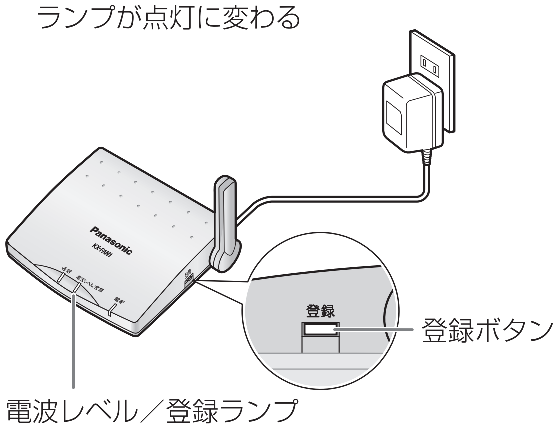
中継アンテナを操作してください
子機1を中継



増設する中継アンテナの操作

7 電源を入れた状態で、
登録ボタンを約3秒間押す

- 電波レベル／登録ランプが緑点滅する
- 登録が完了すると、ランプが点灯に変わる



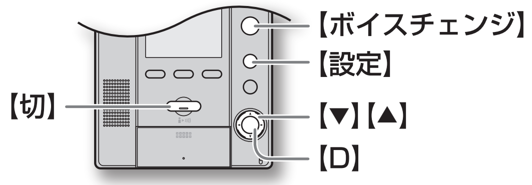
8 終わったら、
親機または子機の【切】を押す

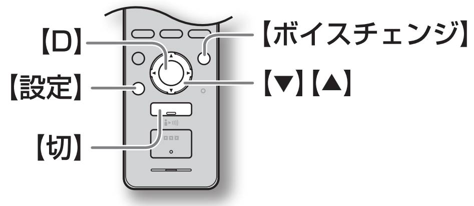
中継アンテナを使ったときの電波のイメージ



登録を解除する（減設）

中継アンテナの使用をやめるときに行ってください。
親機でも子機でも同じ操作でできます。





1 待ち受け中に、**【設定】を約 3 秒間押す**

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 **【ボイスチェンジ】を 3 回押し、【▼】【▲】で 減設 を選ぶ**

＊＊登録／減設＊＊
登録
減設

3 **【D】を押し、【▼】【▲】で 中継アンテナ減設 を選ぶ**

＊＊減設＊＊
子機減設
カメラ減設
中継アンテナ減設

4 **【D】を押し、【▼】【▲】で減設する中継アンテナを選ぶ**

＊＊中継アンテナ減設＊＊
中継アンテナ 1
中継アンテナ 2

5 **【D】を押す**

＊＊中継アンテナ減設＊＊
中継アンテナ 1
減設完了

6 終わったら、**【切】を押す**

おねがい

● 減設した中継アンテナの電源は、切ってください。（誤動作の原因になります）

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、下記の確認と処置を行ってください。

	症状	確認と処置	参照ページ
ドアホン・カメラ(別売)からの映像	ドアホンからの映像が白黒になる	●夜間など、ドアホンの周囲が暗くありませんか？ ➡ドアホンの周囲が暗い場合、白黒映像になりますが、故障ではありません。	–
	映像がはっきりしない ・焦点が合わない	●ドアホンまたはカメラのパネル(レンズ部)が汚れていませんか？ ➡パネル(レンズ部)を柔らかい乾いた布でふいてください。	58
		●ドアホンのパネル(レンズ部)が結露していませんか？ ➡周囲の温度が常温に戻れば回復します。	–
	画面全体が白っぽい、または黒っぽい	●モニター画面の明るさは適切ですか？ ➡【明るさ】ボタンを押して調節してください。	11、14
	ドアホンからの映像が白っぽい、または縦線が入る	●ドアホンのレンズに太陽光などの強い光が当たっていませんか？ ➡見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。	–
	カメラからの映像の映りが悪い ・赤や緑の点が見える	●カメラの設置場所が暗くありませんか？ ➡設置場所を明るくしてください。	–
	カメラからの映像で、人の顔などが暗く映って、見えにくい	●カメラの設置場所に強い日ざしが差し込んでいるときや逆光のとき、または黒いものなどをモニターするときは、被写体が暗くなります。 ➡日ざしが弱くなるようにするか、機能設定の『露出補正』で調整してください。	41
	カメラからの映像が適切な明るさにならない	●カメラの設置場所の明るさが、急激に変化していませんか？ ➡約 10 秒ほどお待ちください。自動で補正されます。	–
	子機で、映像が乱れるまたは映像の更新が遅い(約5秒以上かかる)	●子機またはカメラが、親機から離れすぎていませんか？ ➡親機に近づけてください。または、中継アンテナ(別売)を設置すると改善できることがあります。	8、52
		●親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➡場所を移動してください。または、中継アンテナ(別売)を設置すると改善できることがあります。	8、52
		●近くで電子レンジや無線 LAN 機器などを使っていませんか？ ➡子機またはカメラを親機に近づけてください。または、これらの機器から離してご使用ください。	9

	症　状	確 認 と 処 置	参照ページ
再生画像（親機・子機）	画像が保護できない	●保護できる枚数を超えていませんか？ ➡ 保護できるのは、最大 20 枚です。 別の画像の保護を解除してから、保護してください。 ※保護を解除した画像は、新しい画像によって順次、上書きされます。	32
	画像が消去できない	●保護設定していませんか？（「M」表示がある） ➡ 保護を解除してから、消去してください。	32
	夜間に録画されたドアホン画像が暗い	●夜間などは、ドアホンからの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。 ➡ 機能設定の『録画開始時間』を、「遅い」に設定してください。	43
	録画日時が「－－月－－日 －－：－－」などとなっている	●日時設定されていますか？ ➡ 日時設定してください。	19
通　話	通話が途切れるまたは、ほとんど聞こえない	●親機や子機、ドアホンやカメラ（別売）の周りの音が騒がしくありませんか？ ➡ 周りの音が大きいと通話が途切れることがあります。 プレストーク通話に切り替えると便利です。	21
		●子機背面のアンテナ部（内蔵）を手でおおっていませんか？ ➡ アンテナ部から手を離してください。	14
		●子機またはカメラが、親機から離れすぎていませんか？ ➡ 親機に近づけてください。 または、中継アンテナ（別売）を設置すると改善できることがあります。	8、52
		●親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➡ 場所を移動してください。 または、中継アンテナ（別売）を設置すると改善できることがあります。	8、52
		●近くで電子レンジや無線 LAN 機器などを使っていませんか？ ➡ 子機またはカメラを親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。	9
	雑音（ハウリング）が聞こえて通話ができない	●通話中の相手との距離が近すぎると、雑音（ハウリング）が聞こえます。 ➡ 少し離れた場所で通話してください。	－
	相手側に、こちらの声がまったく聞こえない（こちら側には相手の音声が聞こえる）	●プレストーク通話になっていませんか？ （親機は「P」、子機は を表示） ➡ プレストーク通話では、**【通話】**ボタンを押している間だけ、相手側にこちらの声が聞こえます。	21
	音声応答がうまくいかない	●応答の声が小さかったり、「はーい」などの声を長く（約 1 秒以上）伸ばしすぎると、うまく応答できません。 ➡ 親機や子機が「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。	22

（次ページにつづく）

故障かなと思ったとき

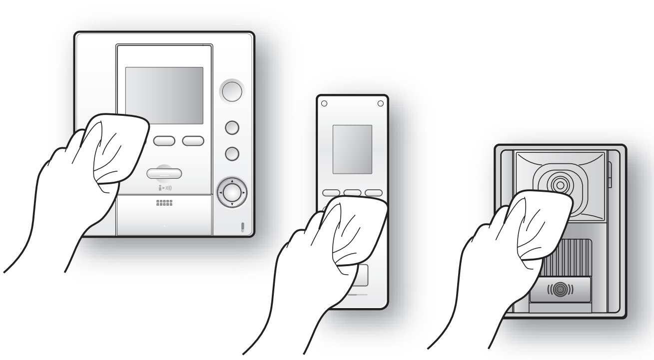
	症 状	確 認 と 処 置	参照ページ
子機・電池	が点滅し、 「ピッピッ」と鳴る	●電池がなくなりかけています。 ➡ すぐに充電してください。	18
	子機を充電台に置いても充電ランプが点灯しない	●AC アダプターがコンセントまたは充電台から外れていませんか？ ➡ AC アダプターをコンセントまたは充電台にしっかり差し込んでください。	18
		●充電台に正しく置いていますか？ ➡ 正しく置いてください。 （「ピッ」と鳴り、充電ランプが赤点灯する）	18
		●充電端子が汚れていませんか？ ➡ 乾いた布でふいてください。	58
		●子機の電池パックが新品、または電池が切れていませんか？ ➡ 約 60 秒間、充電台に置いたままにしてください。	18
	子機を約７時間充電しても、充電ランプが消灯しない	●親機の電源が入っていないときや、子機に「圏外」と表示されているときは、充電時間が長くなります。 ➡ 親機の電源が入っていることを確認し、子機の「圏外」表示が消えるまで親機に近づけて充電してください。	18
	子機を充電しても2、3回使うと が点滅する	●電池パックの寿命です。 ➡ 交換してください。	58
	子機や充電台が温かい	●異常ではありません。 （夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります） ➡ 非常に熱いときは、AC アダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。	–
その他	親機が動作しない ・映像が映らない ・呼出音が鳴らない ・音声が出ない	●電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか？ ➡ 電源プラグを一度外してからしっかりとコンセントに差し込んでください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●電源直結工事をして、ご使用のとき ➡ お買い上げの販売店にご相談ください。	–
	画面が真っ暗	●待ち受け時は、画面が消えます。 ➡ 【切】ボタンを押すと、画面を表示します。	–
		●子機の電池が切れていませんか？ ➡ 充電してください。	18
	ドアホンまたはカメラ（別売）からの呼出音が鳴らない	●呼出音が「切」になっていませんか？ ➡ ドアホンの場合は【▲】ボタン、カメラの場合は【▶】ボタンを押して、「切」を解除してください。	44
		●鳴り分け設定をしていませんか？ ➡ 機能設定の『鳴り分け』の設定を確認してください。	45
	【D】ボタンが点滅している	●ドアホンやカメラ（別売）の未再生画像があると点滅します。 ➡ 【D】ボタンを押して再生操作を行うと、消灯します。	30、32

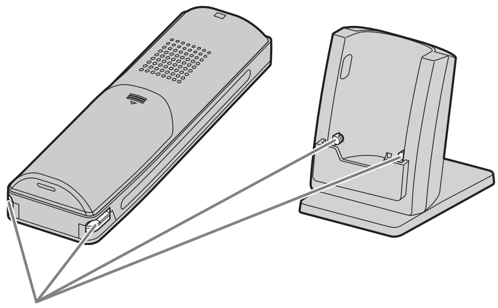
症状		確認と処置	参照ページ
その他	カメラ(別売)の人感センサーが反応しない、または誤動作する	●お買い上げ時の設定では、一度センサーが反応すると、約 60 秒間は次の反応を行いません。	26
		●機能設定の『センサー種別』が、「外部入力」または「OFF」に設定されていませんか？ ➡ 設定を「人感」に変えてください。	41
		●カメラを下記のような場所に設置すると、人感センサーが反応しなかったり、誤動作することがあります。 ・直射日光のあたるところ ・冷暖房機の近くなど、温度変化の激しいところ ・台所など油汚れがついたり、蒸気がかかるところ ・携帯電話など強い電波を発する製品の近く ・前方に、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるところ ・白熱灯の真下など、周囲の温度が高くなるところ	–
		●外からの風や、扉の開閉などで吹き込む風でカメラ周辺の温度が変化した場合も、センサーが反応することがあります。	–
	カメラ(別売)の人感センサーが反応しにくくなった または、検知する範囲(距離)が狭く(短く)なった	●人感センサーの表面が汚れていませんか？ ➡ 表面を柔らかい乾いた布でふいてください。	–
		●機能設定の『人感センサー感度』が、「低」に設定されていませんか？ ➡ 設定を「標準」に変えてください。	41
	カメラ(別売)の人感センサーが反応したが人物がまったく、またはほとんど映っていない	●下記のような場合、うまく撮影できないことがあります。 ・センサーの検知範囲の境界付近にいる人などの動き ・カメラの前をゆっくり横切った人などの動き	–
		➡ 機能設定の『人感センサー感度』を「低」に変えると、改善できることがあります。	41
	「接続できません」 または 「カメラ１接続できません」 などの表示が出る	●子機またはカメラが、親機から離れすぎていませんか？ ➡ 親機に近づけてください。 または、中継アンテナ(別売)を設置すると改善できることがあります。	8、52
		●親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➡ 場所を移動してください。 または、中継アンテナ(別売)を設置すると改善できることがあります。	8、52
		●近くで電子レンジや無線 LAN 機器などを使っていませんか？ ➡ 子機またはカメラを親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。	9
	ドアホンアダプター(別売)に接続している電話機(ファクス)で、ドアホン2からの呼出音がドアホン１と同じ音になる	●機能設定の『拡張機器』が、「インターホン」に設定されていませんか？ ➡ 設定を「ドアホンアダプター」に変えてください。	42
	増設したインターホン(別売)がドアホン2からの呼び出しに反応しない	●機能設定の『拡張機器』が、「ドアホンアダプター」に設定されていませんか？ ➡ 設定を「インターホン」に変えてください。	42

お手入れ

柔らかい布でからぶきする

●汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固くしぼってふいてください。





充電端子は月に一度、乾いた布でふく

（充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります）

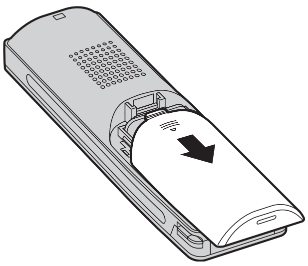
おねがい

●アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の原因になります）

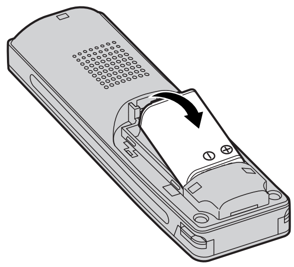
子機の電池パックを交換する

電池パックは消耗品です。
約 7 時間充電しても通話数分後に電池残量表示（ ）が点滅したら、新しい電池パックと交換してください。

1 電池カバーを開ける



2 古い電池パックを外す



3 新しい電池パックを入れて充電する
（☞ 18 ページの手順 1、4）

おねがい

●別売の電池パック（☞ 裏表紙「KX-FAN51」）をお使いください。
➡ 仕様：ニッケル水素蓄電池、DC 3.6 V、650 mAh

Ni-MH

●この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
●ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
●交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。

●リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
・製品、電池パックをご購入いただいた販売店
・（社）電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
（社）電池工業会ホームページ　http://www.baj.or.jp/

●リサイクル時のお願い
・電池パックはショートしないようにしてください。火災・感電の原因になります。
・外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
・電池パックを分解しないでください。

仕様

カラーモニター親機

電源	AC100 V (50 Hz ／ 60 Hz)
消費電力	待ち受け時　約 1.4 W 動作時　　　約 14 W
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	188 × 165 × 41.5
質量	約 760 g
使用環境条件	周囲温度　0 ℃～+ 40 ℃ 湿度　90 % 以下
画面表示	3.5 型 TFT カラー液晶 ディスプレイ
取付方法	露出壁掛け (壁掛け金具付属)
外観材質	難燃 ABS 樹脂 (パネル部：アクリル樹脂)
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
A 接点出力	定格負荷：AC、DC　24 V ／ 0.5 A 以下 最小適用負荷：DC 5 V ／ 1 mA
ビデオ出力	NTSC 方式　1 Vp-p ／ 75 Ω

ワイヤレスモニター子機

電源	専用ニッケル水素蓄電池 (専用ニッケル水素電池) (品番：KX-FAN51) DC 3.6 V ／ 650 mAh
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	157 × 52 × 35
質量	約 175 g (電池パック含む)
外観材質	ABS 樹脂
使用環境条件	周囲温度　0 ℃～+ 40 ℃ 湿度　90 % 以下
画面表示	1.8 型 STN カラー液晶 ディスプレイ
使用時間※	連続使用時間：約 2.5 時間 待ち受け時間：約 200 時間
充電時間	約 7 時間
通信可能距離	約 100 m (親機との見通し距離)
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式

※約 7 時間充電した状態で、使用環境温度が 20 ℃のとき

カラーカメラ玄関子機

電源 (親機より供給)	待ち受け時　DC 約 5 V ／ 2 mA 動作時　DC 約 20 V ／ 180 mA
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	131 × 99 × 41.5 (突起部除く)
質量	約 200 g
使用環境条件	周囲温度　-10 ℃～+ 50 ℃ 湿度　90 % 以下
取付方法	露出型： JIS1 個用スイッチボックス (カバー付き)適合
外観材質	難燃 ABS 樹脂
撮像素子	1/4 型 CCD（25 万画素）
最低被写体照度	1 ルクス (カメラから約 50 cm 以内)
照明方法	赤外線 LED

充電台

電源	AC アダプター (品番：PFAP1013) AC100 V (50 Hz ／ 60 Hz) DC 8.5 V ／ 270 mA
消費電力	待ち受け時　約 1.2 W 充電時　　　約 2.9 W
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	充電台スタンド使用時： 115 × 76 × 90 充電台スタンド未使用時： 105 × 76 × 48
質量	約 115 g (充電台スタンド含む)
外観材質	ABS 樹脂
使用環境条件	周囲温度　0 ℃～+ 40 ℃ 湿度　90 % 以下

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし電池パックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このワイヤレスモニター付テレビドアホンの補修用性能部品を、製造打ち切り後 7 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

54 ～ 57 ページに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグや AC アダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  右上の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

- 停電などの外部要因により発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ワイヤレスモニター付 テレビドアホン
品　番	VL-SW102AK
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所など個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/pcc/contact/inquiry/la_index.html

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル **0120-878-365**

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-3644

九州地区

	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0505

必要なとき

さくいん

必要なとき

別売品（ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください）

価格は2005年10月現在のものです。

製　品　名	品　　番	希望小売価格
カラーカメラ玄関子機	VL-V564-K ※1	25,200円（税抜 24,000円）
埋込型カラーカメラ玄関子機	VL-V551-K	61,950円（税抜 59,000円）
ワイヤレスモニター子機	VL-W600 ※2	26,250円（税抜 25,000円）
ワイヤレスカメラ	VL-W800	26,250円（税抜 25,000円）
スタンド（ワイヤレスカメラ壁掛け用）	VL-W900	3,780円（税抜 3,600円）
インターホン	VL-A467LAX	13,440円（税抜 12,800円）
	VL-A467LAK	13,440円（税抜 12,800円）
	VL-A468LA	12,075円（税抜 11,500円）
	VL-F411X-W	12,915円（税抜 12,300円）
ドアホンアダプター	VE-DA10-H	10,500円（税抜 10,000円）
テレコントロール用エアコンアダプタ 松下電工(株)配管機材(事)扱い	CZ-TA2	3,675円（税抜 3,500円）
電気錠制御器	HX-715	61,425円（税抜 58,500円）
中継アンテナ	KX-FAN1	12,600円（税抜 12,000円）
ワイヤレスモニター子機用電池パック 松下テクニカルサービス(株)扱い	KX-FAN51	2,310円（税抜 2,200円）

※1 付属のドアホンと同じ仕様です。
※2 付属の子機と同じ仕様です。

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検　長年ご使用のワイヤレスモニター付テレビドアホンの点検を！

こんな症状はありませんか	
	● 電源を入れても動かないことがある。 ● こげくさい臭いや異常な音がする。 ● 電源プラグやコードが熱を持っている。 ● その他の異常や故障がある。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、電源プラグやACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販　売　店　名	電話（　　　　）　　—

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー
〒812-8531　福岡市博多区美野島4丁目1番62号

PFQX2296ZA　SC0805MT0